京城日報
（年中無休刊）
本紙定價 一部金參錢 壹箇月金七十五錢 郵稅……
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 長六千九番
振替京城三〇三番

七月二十二日夕刊（朝刊併せて八頁）

伊國 軍事行動繼續 聯合國武力干涉に出てん

伊太利は羅馬尼波蘭に對し依然軍事行動を繼續せるより聯合國は其態度を改めざれば武力干涉に出でんとしつゝあり（巴里電報）

前獨帝身代拒絕

巴里に於ける戰爭責任調査委員會は前獨帝の審問に關し元帥ヒンデンブルグ、前宰相ベートマンホルウェッヒ等の身代り要請を拒絕し旣に講和條約に規定する處に準據して處置す可き旨意見一致したり（倫敦電報）

英不當利得防止

英國政府は物價騰貴を抑制する爲め不當利得の弊害防止策を執るに決定せり（倫敦電報）

經濟策批難決議案

佛國下院にて生活問題に關する彈劾案を討議せるが政府の經濟政策を批難せる決議案は十四票の差を以て採擇されたり（巴里電報）

米船 運賃管理廢止

外務省着＝米國船舶院は十四日以降船舶運賃管理を廢止する旨發表せり（東京特電）

天津居留地問題 墺國の權利を繼承する理由なし

伊國の天津墺國居留地繼承要求の件に就き國務院は十七日陸徵祥氏に左の電報を發せり（北京電報）

天津居留地は對墺講和條約中にて支那が回收したる上開放して一般商租と爲す事を明記しあれば此際伊太利が墺太利の權利を繼承する理由無し伊太利が單に商業を目的とするならば同地に於て隨意營業して可なり寧ろ之れを伊太利のものと爲す必要無し此旨聯合國に聲明す可し

支那 邊境防備存續 參戰督辦事務處閉鎖

支那は歐洲大戰終了と共に參戰督辦事務處を閉鎖す可し尙邊境防備處の爲め參戰軍の存續を必要なりとし二十日大總統令にて參戰督辦たりし段祺瑞氏邊防事務督辦に任じたり（北京電報）

衝突は深き根柢なし 暴行兵は暴虎憑河の山出し兵 ＝某支那通談＝

某支那通の談に據れば寬城子に於ける日支兵の衝突は誠に忌まはしき事にして又已むを得ざることなり目下同地方には孟張兩氏の爲勝より兩軍續々抑し寄せつゝあり殊に吉林より出で來れる孟軍は山出しの兵なれば外交上の事に就ては更に之を知らず其何國の境界なるやさる事は彼等の眼中に無く唯氣を負ぶもの、みなれば其勢ひに乘じ掠奪暴行を敢てし偶々我管內にて暴行に及べるを我巡査の警告に遭ひ遂に同巡査に重傷を負はせたるものならん元來同地は鐵道を境界とし日支露の管轄復雜し居り多數の邦人在留しつゝあれば騷ぎは定めし大なりしものあらんも同地附近の我守備兵は公主嶺を本部とし約一個中隊駐屯せるのみなれば大衝突を起すが如き事無かりし筈なり尙又今回の衝突は深き根柢あるに非ず單に事理を解せざる支那兵の暴行に過ぎざるべし張孟兩氏共日本を諒解し日本に信賴しつゝあれば近く圓滿なる解決を見るに至る可し云々（東京特電）

膺懲の刃を加へよ

寬城子に於ける日支兵衝突に就き旅順某將軍は語つて曰く吉林兵の長春出動は同地方の秩序を保つ上に相當の警戒を要する事なるを以て豫め戒中のところ遂に今回の如き衝突を惹起したるは遺憾に堪へず彼等の行動は徹頭徹尾野蠻無法にして到底常識を以て律する能はず彼等に對しては膺懲の外途無し殊に我交涉使將校及び警官を射殺したるが如き以ての外の事なり飽迄彼等を打ち懲すは滿洲に於ける我既得權の擁護上必要事なり彼等如何に妄動するも我駐劄軍の鎧袖一觸だにも値せずされど彼等は素より世界の大勢に通ぜず殆ど山賊に等しきの徒なれば眞に其暴擧を悔い適當謝罪の方法を執るに於ては我は飽迄追擊全滅を期するものに非ざるも此種の事件は從來屢々各地に於て行はれ其都度我寬大なる處置に依り落着を告げたるも今回は彼等の態度如何に依りては一擧にして討滅し少くとも滿洲に於て此種の問題を再發せざらん事を期すべしと（大連特電）

佛艦入港 艦長上京

佛國より我が國へ派遣されたる輕巡洋艦デストレー號は二十一日朝橫濱入港艦長は直ちに上陸上京し同國大使館並に海軍省を訪問し加藤海相の晚餐會に臨めり（東京特電）

日本銀行帳尻

十九日に於ける日本銀行の帳尻は左の如し（東京電報）

發行高	九四〇、〇〇〇
正貨準備	七一八、〇〇〇
限外發行	一〇一、〇〇〇
貸出高	三八八、六〇〇

大暑天機奉伺

二十四日は大暑土用入りに就き山縣政務總監李王及び各公殿下には目下日光田母澤行幸啓中の兩陛下に對し奉り天機並に御機嫌を奉伺する由

鐵道特約割引の公開 八月一日より實行

議會を通過せる鐵道營業法一部改正の內運賃其他取扱ひ條件に關する件は來る八月一日より實施さる、筈なるが右は從來內地及び朝鮮に於て個人に對する特約割引を行ひ來りたるを此法律改正の結果一般に公示するにあらざれば個人に對し絕對に割引若くは增減するを得ざる事となりたるなり聞く所によれば從來朝鮮線にあつては內地同樣特約割引を減ずべく着々實行し來り今や僅に石炭、煙草、陶器、礦石等七八種のみ存置し今後は更に其の內必要なるものに對しては特定運賃として殘し必要ならざるものは廢止すべく目下詮議中なり尙既往の特約も對人的のものには同一の特約と雖も同一條件を具備する者には同一の特約を附與する由なれば今回改正さる、事となるも內容に於ては甚だしき變動なかるべしを見ず要するに公示さる、事となりたる爲め今後は鐵道と個人間に何等不正秘密條約あるにあらずやと痛くも無き腹を探らる、事無く全く世間よりの誤解を免る、事となるべしと

物價騰貴不可避 高野三井物產支店長談

東京大阪方面を旅行中なりし高野三井物產支店長の歸城談に曰く物價の騰貴は社會問題として嚴に過し難く旁

通貨を縮少

しその調節を行ふべしとの聲が一部に於て中々高い此議論は議論として予輩も或る點まで共鳴するのであるがさて何故にものが高いか系りに通貨を縮少し物價を低落せしむる影響は如何なるものであるかを考ふれば假に通貨縮少論に賛意を表し難いのである何となれば何故物價が益々高調を辿るのかと云へば色々原因もあるけれども大きい材料は休戰の成立より講和の調印成り物資の世界的需要を惹起したのに供給が之れに伴なはないからである此際政策を以て通貨の縮少金利の引上を實行すれば物價はその政策の程度如何により必ず低落の傾向を來すであらう然し乍ら吾邦の物價のみが下つた場合どうなるかと云へば國內の物資はドン〳〵

外國に搬出

されて終ひ結局品不足は物價を更に高め馬鹿を見る事になるのである佛國では暴利を貪る奸商に極刑を課しようと云ふやうな立法案も研究され英國も米國も物價の激騰には相當政府は苦心をしてゐるけれども未だ大きい意味の國策として物價調節通貨縮少の如きを斷行しないのは結局初めにやつた國が最も下らぬ目を見るからであるそれで是が非でも物價調節をやらねばならぬとすれば國際聯盟的に實行せねば効果は萬全にあらず斷じて一國限りやるものでない或る論者は吾が國の物價を下げてそれを外國に搬出さるゝのを不可とすれば商品を限り輸出禁止を斷行すべしとの事を云つてゐるらしいけれども左樣の政策をとつては折角築き上げた吾が財界の基礎を自ら崩すやうのもので又その結果

產業組織を紊し

勞働界の不安を深からしめ生產者に打擊を與ふる事は物價騰貴による苦痛に幾倍するであらう物價の騰貴は世界の大勢として不可避のものであるから各人自戒して相應の對策をとるべしである

殖銀債券發行 內鮮市場に一千萬圓

朝鮮殖產銀行に於ける商業金融部の資金は預金の增加鮮銀の融通等により必ずしも不足なき模樣なれど

勸業金融部

にては昨今金の需要激しく六月末の貸出し旣に一千六百萬圓を超ひ一箇月に二百萬圓內外の增進を示しつゝあり勞々資金の調達は極めて急を要するものあるが今春來研究中なる第二回殖產銀行債券の市場賣出しは最近同行重役會議に於いて決定せしものの如く近く一千萬圓を內地並に朝鮮の市場に發行すべく內定せり聞く所に依れば利率は多分年七分に近きものとなり鮮內地方の遊資を吸收するため小額券をも賣出すものの如し尙殖銀は日本勸業銀行との間に連絡あり低利

資金の融通

を受け得る事となり居れど勸業債券を一時に朝鮮に賣出すは躊躇の色あり又殖銀としては現在の如く金融緩漫の時代に公債券を出しその市場價格を……

巡查增俸發布

二十三日附總督府總務部令を以て內地人巡查增俸の件發布即日施行さるべきが右は總督府巡查に對して現に十五圓未滿の給與を受けつゝある者に十五圓の給與を爲すと改正されたるものにして敎習中に屬する者は此の限りにあらずと

上半貿易 千六百廿八萬七百餘圓 三十五萬千餘圓の出超

七月上半月中に於ける朝鮮貿易は輸移出八百三十一萬六千百九十五圓、輸移入額七百九十六萬四千五百九圓合計一千六百二十八萬七百八十五圓にして輸移出三十五萬一千六百五圓の超過を示せり一月以降の累計は輸移出一億六百八十一萬六百五十八圓輸移入一億三千二百九十一萬九千七百十四圓合計二億三千九百七十三萬三百七十二圓にして之れを前年同期に比すれば輸移出に於て四千四百八十六萬五千六百六十八圓を、輸移入に於て六千百七萬七百九十三圓を、合計に於て一億五百九十三萬六千四百六十一圓を各增加せり本期間中に於ける輸移出入品價を港別に表示すれば左の如し

▲輸移出入品價港別表

港名	輸移出	輸移入
仁川	七六二、六四三	一、七五三、五二六
釜山	二、七六六、六五四	一、八〇五、四七一
元山	三六六、一六八	六八四、七〇七
鎭南浦	六二二、八〇三	五〇八、四五五
京城	一七二、〇八一	一、三六四、八五七
群山	一、五七三、八七三	二〇六、六四八
木浦	三六九、九六八	八四四、七六一
大邱	四九九、六八四	三三二、七八七
馬山及鎭海	八八、六〇五	三九九、四二五
淸津	一〇一、七五〇	一〇七、五八六
城津	一五六、一〇二	四九九、八八三
新義州龍岩浦	三〇一、六六六	六六五、九〇四
平壤	一九、九九七	三二九、三五〇
合計	八、三一六、一九五	七、九六四、五〇九

滿鮮電報遲延

近來滿洲朝鮮間の電報遲延著しく遲延するにつき朝鮮遞信當局にては相當對應策を講ぜられたき旨關東遞信當局に交涉せしが遲延の理由は奉天長春等の大局に於ける技術員の不足にあるもの、如く滿洲にても夫々方法を執りつゝあるにつき遠からず平調に歸すべしと

朝鮮製紙進捗

新義州の朝鮮製紙會社に於ては機械の据附組立等終了したるにつき十九日試運轉を行ひし所好良の成績を示したる由にて昨今尙ほ調度を調整中なるがその操業の開始は八月五日よりの豫定なり尙ほパルプ製出能力は一ケ月約一千噸なりと

鮮銀株の暴騰

客月貸出固定說その他の臆測を傳へられて嫌氣筋の賣物あり暴落せし朝鮮銀行株は百九十二圓に暴落せしがその後同行の實績何等悲觀の餘地なく營業の狀態は益々好調を告げ前半期決算の如き著しき進展を告げたる事漸次知らるゝに至りし株界の好勢にチリ高を呈せしが二十一日東京に於ける中値は二百十二圓を報じて新記錄を作り客月の低値に比し二十圓高を現はしたり

定例長官會議

二十二日午前十時より總督府第一會議室に於て定例長官會議を開き山縣政務總監を始め各部局長官所屬官署長出席せり

京畿林野調査

林野調査事業は各道に亘り施行中なるが京畿道に於ては大正七年五月調査令發布に先だち大正六年八月以來施行中にて最初七班を以て外業に從事せるが目下三班に縮小せるも旣に調査終了せるは京城、高陽、始興、富川、水原、振威、江華、金浦、坡州、長湍、楊州の十一郡に上り現今調査中のものは開城、龍仁、利川にして安城郡は一部調査中今次の騷擾勃發し中止せるが右の三郡も開城は八月中龍仁は十月中利川は八月中旬迄終了を告ぐる筈なるが利川の殘部と廣州、楊平の各部も本年中に終了の豫定にて他の加平、抱川、漣川等は來年に入り調査の筈なりと尙ほ本年の査定面は百三十四面の豫定にして査定と共に之れを告示し不服あるものは一箇月以內に査定委員會に不服を申し立てしむる由なり

鮮銀券發行高

十三日より十九日に至る一週間の鮮銀券發行平均高は一億零三百三十九萬圓にして週末發行は一億零四百二十八萬圓に漸增し限外發行高は一千八百七十五萬圓なり

朝鮮 產米增加方法（六） 十年後に於ける麥類大豆粟の生產消費及び需給狀況推測

（二）一人當消費量（イ）內地人の米消費量は現時に於て一石二斗（內地に於ける內地人の消費量一石四升より稍多量なりと推定し將來當現狀を維持するものと想定す（ロ）朝鮮人の現時に於ける米消費量は大正六年產米に對し五斗八升三合なるも同七年產米に對しては約五升增加の形勢なるを見込み其の消費量を六斗三升とし爾後年々一升宛を累加し八斗に至りて止むものと想定す（ハ）支那人其の他外國人の米消費量は朝鮮人と同樣なりと想定す

（三）現在の施設計畫に大なる變化なき場合十年後に於ける剩餘量 前揭の想定に基づき十年後（大正十七年）に於ける人口を推測するに左の如し

	人口
內地人	五〇五、四二六
朝鮮人	一八、五六〇、八六二
支那人其の他外國人	二一、三二一
計	一九、〇六六、二八八

右人口に對し內地人は一人當一石二斗、朝鮮人及び外國人は七斗三升（前揭の想定に基づき）を消費するものとし計算する時は十年後に於ける消費總額

十年後に於ける消費總額	一四、一五五、九四〇石
現在（大正七年）に對する消費量の增加	三、一五三、五七七石

となる然るに第二節に述べたる十年後に於ける米產額の增加二、八三二、五四五石なるを以て米の剩餘量は現在に比し結局三十二萬千三十二石減少することなるを以て現在（大正七年の見込）に於ける剩餘量二、七〇〇、〇〇〇石は減少して十年後（大正十七年）に於ける剩餘量は二、三七八、九六八石即ち二百萬石を越ゆると多からざるに至るべし

（四）相當規模の計畫を講じたる將來（約三十年後）に於ける剩餘量 前述したる想定に基づき計算したる三十年後の將來（大正三十七年）に於ける人口左の如し

	人口
內地人	八九六、四一九
朝鮮人	二二、六二一、七六二
支那人其他外國人	二六、〇一七
計	二三、五四四、一九八

右人口に對し內地人は一人當一石二斗、朝鮮人及び外國人の八斗を消費するものとし計算するときは三十年後（大正三十七年）に於ける

消費額	一九、一九三、九二六石
現在（大正七年）に對する消費量の增加	八、一九一、五六三石

となる然るに第三節に述べたる卅年後に於ける米產額の增加一六、四七六、五六九石なるを以て其の剩餘量は現在に比し八百二十八萬五千六石の增加を來すべきに依り現在（大正七年）の見込に於ける剩餘量二、七〇〇、〇〇〇石を加ふる時は三十年後（大正三十七年）に於ける剩餘量は一〇、九八五、〇〇六石即ち一千萬石以上に達すべし

△附記 相當規模の計畫を講じたる場合に於ける十年後の豫想 現在の設計畫に變更を加へ尙將來（三十年後）に對する相當規模の計畫を講ずる場合に於ける十年後を豫想するに三十年後に於ける增收額一千六百四十七萬石の三分の一弱即ち現在に比し大約五百萬石內外の增收を得十年間に於ける內外の增加三百十五萬石を差引き二百萬石內外の剩餘を生ずべく依て輸移出力は裕に三百萬石を超過すべき見込なり

國勢調査評議員會

二十二日午前九時より總督府第一會議室に於て國勢調査評議會を開き山縣政務總監を始め各委員參集國勢調査事務に關し協議する所ありたり

普通校長會議

京畿道管內普通學校長會議は廿二日午前九時より松永道長官統裁の下に開催されたるが廿五日迄四日間引續き開催さるべく六十二校長出席せるが其日程左の如し

廿二日午前訓示、諮問事項、聽取事項、午後諮問事項調査及事務打合
△二十三日午前聽取事項午後諮問事項調査及事務打合
△廿四日午前諮問事項答申協定午後同上
△二十五日午前指示事項及打合事項午後學務局長の敎育に關する講話

國勢調査會講師

朝鮮總督府主催國勢調査講習會講師として囑託せられたる法學博士高野岩三郎氏は八月廿六日同二階堂統計官は廿七日何れも入京すと

兩子爵免職

經學院大提學子爵金允植、同副提學子爵李容稙の兩氏は七月十六日附本職を免ずる旨二十二日附總督府官報にて發表されたり

人事消息

△林工兵大佐（吳運輸本部員）花田陸軍技手を從へ二十二日朝釜山運輸部汽船檢査の上鎭海に向ふ筈（釜山特電）
△藤川利三郎氏（平安北道長官）二十二日朝退城
△森本一郎氏（殖銀理事）二十二日朝入城不知火へ
△中村正一氏（滿鐵囑託工兵大佐）滯城中の處二十三日夜發歸連の筈
△中村與資平氏（鮮銀囑託）二十二日家族同伴元山へ
△平松英雄氏（軍參謀）十三日朝釜山より歸任
△原田太郎氏（軍副官）二十二日夜北鮮地方より歸任
△富岡一等主計（軍司令部附）同上
△地田五郎氏（龍井村鮮銀所長）廿二日入城滯在中
△福井武次郎氏（鐵業家）廿二日夜新安州より入城廿三日午前十時發列車にて東上

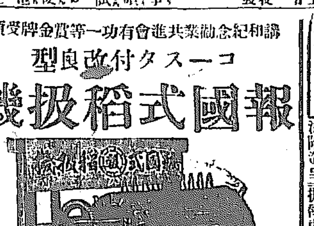
八面鋒

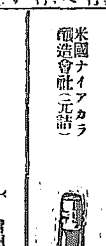
◆國際聯盟にて世界より戰爭を封じ込まんとする米國大統領
◆墨國に對して武力干涉を試みんとす眞先に聯盟を破る氣か
◆若し夫れ聯盟は一時的方便なりと云へば其れ迄却て結構也
◆墨國の騷亂は頑迷なる暴徒の橫行也武力干涉は當然と云か
◆暴徒の亂行を以て武力干涉の口實となし得べくんば大賛成
◆我が滿洲に於ける暴徒亂行に對し速かに武力干涉を行なへ
◆長春に於ける支那兵の暴行が張孟の確執を一轉化せんとす
◆策略に出たりとすれば問題は更に重大なり原因を詳査せよ
◆何が何でも國家の干城を無慘に暴兵輩の銃彈に失ふは心外
◆獨逸が曾て膠州灣を獲しは一宣敎師の血也此例他に多々在
◆長春暴行に於て我が死傷の而已發表せられて支那側は不明也
◆鄭家屯事件の際に於ても國民等しく憤慨せしを忘れたるか
◆暴行は誤解より生ずる故速に誤解を解けと云ふ者もあれば
◆暴兵は山出の無智の者也故に何等の考へも無く彼の擧に出
◆諸說あらん吾人は何ら之を排斥す其は事情を知らぬ者の言
◆誤解と云ひ無智を以て其寬大を云ふは昔の事なり今は不當
◆威を以てすれば縮み上り[illegible]すれば付上るは彼等の癖と知ずや
◆斷然たる措置は此際に必要然らずんば却て彼等の侮を受ん
◆講和條約非調印山東問題の留保曰く何曰く何と繰返しつゝ
◆日本の弄策は何故なりや其[illegible]萬事斯の如し
◆其の依て來りたる原因を考へよ愚直は既に時代遲れの劣策
◆今日は決して小心翼々の時代に非ず須く膽大にして心小なれ

▲五ケ年に亘る苦心の大著 即席應用 組合せ式 手紙文鑑
▲どんな手紙でも頭を痛めず即座に思ふ通り書ける新案組立法
▲最新式考案
今回完成せる應用自在組合せ式手紙文鑑は元中學教諭齋藤益州先生が苦心完成の大著にして今迄に類のない組合せ式なるが故にどんな手紙の下手な人でも一度本書を開けば少しも頭を痛めず考へずに思ふ通の手紙が即座にスラ〳〵と幾通りでも書ける仕組にして……

特價 ……
草書字引 添附進呈
有敎社 東京青山南町六ノ四八 振替東京二七七三番

（讀者諸君の質問に責任を以て應答す）

講和紀念勸業共進會有功一等賞金牌受領
コースタ付改良型
報國式稻扱機

特約店募集（御報次第カタログ送ル）
報國合資會社 京都府知山 電話八十六番

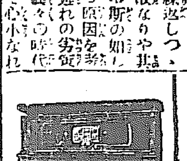
輸入元 米國ナイアガラ釀造會社（元詰）
ナイアガラ ウ井スキー
釜山大倉町 ミトヤ商店


貸遊船 共樂社 龍頭山電車終點 電話五一八番

瑞西製 腕時計新荷着

十八金十形アンクル十五石入 金四十二圓
十ケ年純金張十形 金十二圓八十錢
銀側十二形アンクル十五石入 金十五圓
ニッケル十三形アンクル七石入 金十三圓五十錢
小包料各十八錢宛
京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

謹告
東洋協會專門學校生徒 村田喜一氏
石商業實務練習の爲め滿洲方面へ出張し我がパイン萬年筆を實地販賣することゝ相成出發仕り候御伺申上候節は何卒宜敷御援援の程伏して奉懇願候
パイン萬年筆京城製作所 京城府本町一丁目電話二〇七七番


新荷著（目錄無代附呈）
京城本町二丁目九番地 山葉樂器朝鮮代理店
發賣元 釘本樂器部

家寶 進呈 萬國平和會
釜山商店案內
長岡商店
酒精 燒酎 西貢米 碎米 砂糖 麥粉 福榮商會
洋鐵鋼鐵道船舶材料其他工業用機械附屬品商 角野商店
石鹼界之覇王 スマートン
精選品賣本位
青竹直輸入販賣 豐後石炭販賣 海產物肥料商 左官用海草 萬荷受問屋 二谷商店
サンエス萬年ペン

島田糸店
洋酒・罐詰 あづまや
糖粉・官煙

線香はなび　或る日の夕がた

伊國文豪ダヌンツイオ氏が 飛行機で日本へ

思想界ばかりでなく 實行にも權威者 その熱烈な愛國心

羅馬電報は『伊太利文豪ガブリエル、ダヌンツイオ氏は日本へ向け飛行せんとし居れり』と報じて來た、果して實現するか何うかは今の處明かでないが近來伊太利人が日本に對し著るしく親和的になつた折柄、極めて面白い問題と云はねばならぬ、ダヌンツイオ氏の事について某消息通は曰く『ガブリエル、ダヌンツイオ氏が日本を理解し作品の中にもチヨイ〳〵我美術品などを書いてゐる上に氏の性格から觀て日本への

訪問飛行 はあり得る事と思はれる、氏は當年五十五歳生家は餘り好くなかつたが壯年に羅馬へ出てジー侯爵夫人の世話になつて勉強したが若い時は知々の好男子で羅馬の婦女の戀の的となり氏の爲に悶ね死んだ女もあるとさへ云はれるが遂に世話になつてるるジー夫人の令孃と駈落して夫婦になつたのが社會的に認められる始めで其後に於ける氏は

死の勝利 其他百餘種の著述をして詩人小説家乃至は劇作家として世界的に文名を謳はるゝに至つた事は餘りに有名だが氏は大膽で氣も若いが餘程變つた性格の持主で著述の時は二ヶ月間も僧院に籠つて全く世間と交渉を絶ち著述に耽るかと見れば忽ち立派に著飾り美裝した馬に跨つて市街を練歩くといつた調子の人である、氏が始めて飛行機に乘つたのは

十年前て 當時は佛蘭西に移住して頻に佛語で著述をしてる頃であつた、飛行機に文學者として乘つた者は世界中氏を以て嚆矢とするが又飛行機に乘つたセンセーションを書いて乘らずに讀む者にも十分に其感を得せしむる程度に書いたのも氏が始めてゞある、大戰爭が始まつて從軍する樣になつてからは大きな著述をしないけれども

自然主義 ミニイチエドも義との型を脱して著しく愛國的になつた氏は作の基調をも此處に置いてガリバルジーの生涯を歌つたりその他英雄歌を作り又は熱烈なる愛國的の歌を作つて國民の元氣を鼓舞した氏が將々待遇となつて飛行機に乘り屢々墺國方面の空を翔つて其自作の詩を撒いたり潜水艇に乘つて例のフユーメを攻撃したりしたのは恐く熾烈な

愛國心の 發露で現在の伊太利に思想界と物質界とを指導くのは氏を措いては無く從つて思想界に尊敬さると同時に實行に於ても權威ある人であるされば一度氏が羅馬に歸るや羅馬の市民は宛ら佛國人がフヲツシユ將軍を迎ふるが如き熱誠の歡迎をするのである』

生産が減つて 死亡が増加した

府の統計に現れた事實 生活難が生んだ悲劇？

諸物價が 昂騰に昂騰を重ねて生活を脅威して居る一面府内の出生率は昨年に比較して可成の減少を示して居る即ち本年一月より六月迄の出生數は京城府に本籍を有する者二千八百三人他に本籍を有し京城府に居住する者九百四十一人計三千七百四十四人の出生で昨

大正七年 は八千二百三十七人に上つて居る尤も之は昨年一箇年の數字であるが之を假りに二分して見ると本年はザツト四百人からの減少である生活上の脅威が直ちに出生率に影響を與へたのだとは言ひ難いかも知れないが兎も角も減少して居る事は事實である次に昨年一箇年の

死亡率は 彼の流行性感冒其他で餘程死亡增加を示したにも拘らず六千六百七十六人で之れを本年一月より六月迄の死亡率三千七百五十五人に比較して見れば本年に入つてから死亡率が餘程殖へて居る事が明かで出生率の減少と死亡率の増加の對照を社會は何と見る甚だ憂ふべき現象では無いか

體の好い 脫税

是を取締る 爲税法改正

富豪連の脫税の傾向が近來益々濃厚になつて來た就中東京と大阪と最も多く大藏當局は既に三四年前から調査研究に著手してゐたが何れ今期議會には之れを提出するといふ當局者は語る『個人の所得税率は御承知の通り千分の三百まで、法人の所得税率は千分の七十五である、だから十萬圓の所得ある個人は三萬圓の税を納めなければならぬが法人だと七千五百圓で濟む即ち組織變更の好手段の行はれる所以で京大の某敎授は之を『合理的脫税法』といつた此脫税の脫税法を如何に盛んに行ひつゝあるかといふ事は例を私の近くに求めても明かなものがある防止策として株主に税を課するも一法だといふ論もあるが之も聊か迂へもので要するに法人の税率をもつと高く改正するが何よりの策である』（東京）

東京の土用入 頗る順調

東京方面廿一日土用入の天候は至極順調にて（東京特電）

もう浸水の虞は有るまい 漢江通の下水浚渫

龍山陸軍倉庫の後方より青葉町方面に流るゝ小川は度々土砂に埋まり一度び豪雨來れば忽ち小早川の濁流と合して漢江通の一帶に氾濫し附近住民の迷惑一方ならず衛生上憂ふべきものあるを以て町内總代より府當局に下水浚渫工事及び小早川橋梁改築の件を請願中の處小早川橋梁改築は此程より開始し近く落成すべく又下水浚渫工事も愈々着手する事となりたれば今後は床上床下に浸水するが如き事あるまじく漢江通り住民は何れも安堵の胸を撫でおろせり

工兵隊演習

龍山工兵隊は愈々架橋演習を實施する事となり二十二日架橋設備に著手したり

騎兵隊行軍

龍山騎兵隊は齋藤隊長指揮の下に四小隊を編成し二十一日午前六時半營門を出で鷺梁津を仁川街道に出で仁川金浦に向け耐暑二泊行軍を實施したるが廿三日歸隊すべし

床次内相 結婚す

宮川男令孃と

床次内相は廿三日宮川男爵（重文不明）令孃みつ子（三〇）と麻布自邸に於いて華燭の典を擧ぐる筈（東京電報）

負傷した 野綱主計正 經過良好

此程忠州に出張の途次龍院に於て自動車顚覆し腰下に重傷を負へる軍司令部經理部附野綱二等主計正は二十二日夫人及び軍醫に助けられ歸城直ちに衛戍病院に入院したるが症状は目下化膿しつゝあるも經過良好なれば約二週間にて全治すべしと

全國概ね平穩 土用入天候

廿一日土用入りの天候は全國を通じて概ね好順なり（下關特電）
▲澎湖島 霧▲臺北 晴▲鹿兒島 晴▲宮崎 雷雨▲高知 曇▲鹽見崎 晴▲岡山 晴▲長崎 晴▲濱田 晴▲堺 晴▲福井 晴▲濱松 晴▲東京 曇▲前橋 曇▲銚子 快晴▲相川 晴▲秋田 曇▲石の巻 曇▲小笠原 晴▲函館 曇▲釜山 晴▲木浦 霧▲城津 曇▲石島 雨▲那覇 晴▲靑島 曇

釜山聯合水泳

[illegible]番にて二十日午後一時會員全部八十八名こす（釜山）

[illegible]四十五名商專六名[illegible]一名合計六百[illegible]

我が陸軍では新しき武器の一ツに著手したのは數年前よりであるが照準等の關係もあつて何うしても步兵の前驅をなして進撃するのであつて遠方に[illegible]

（二圓關門突破）

日支兵の衝突を 親しく目撃した

朝鮮ホテル事務員の書翰 我死傷兵は八十名 酸鼻を極むる戰の跡

長春に於ける日支兵衝突が如何に猛烈にして且つ殘虐を極めたるか目下同地方視察中の朝鮮ホテル寺澤事務員より猪原同ホテル支配人に宛てたる書翰に依れば其一端を窺ふ事が出來る哈爾賓は目下吉林奉天兩將軍の爭ひあり城内の人氣頗る緊張して今にも兵火を交へんとする状態にあり爲に支那人は無論外人等の避難夥しく東清南滿兩鐵道の毎列車は之等避難民の爲め滿員なり余の當地（吉林）に著するや恰も日本兵と吉林兵との間に大衝突起り豆を煎るが如き機關銃の音物凄く長春驛内ホームは勿論大和ホテルより約一町餘の散髮屋に流彈飛來し折柄散髮中の客は左上膊部を打貫かれたる騷ぎに我守備隊よりホテル自動車の徴發ありたるを幸ひ淵田支配人と之に同乘し我兵の支那兵追擊に移れる寛城子方面に自動車を走らせたり同方面には露國兵舍を假收容所に充て我死傷兵を收容せる數八十餘名にて內戰死者十一名あり鮮血淋漓として悽慘なり中には支那兵の爲め慘殺せられ臓腑を縷の貫かれたるもの耳を殺がれたるもの眼球を半ば抉り出されたるもの等ありて酸鼻を極めたり當地發車は何れも避難民を滿載し一等車は負傷兵の運搬に充てられ居れり昨夜十九日には寛城子其他より日本兵約三個大隊來著新市街の要所に機關銃を据付け警戒す新市街と城内との境は日本兵守備に當り城内は支那の官兵が戰時武裝をなし步騎交々巡邏しつゝあり（廿日朝發）

尊き犠牲者　上段右より負傷後死亡橫山中尉、戰死住田中尉、重傷椎原中尉　下段右より戰死森井軍曹、同白羽軍曹、同山木一等卒

外務省の訓電

森田領事調査に著手

日支兵衝突事件に關しては其筋にも續々電報到達しつゝあるも原因に就ては尚不明の點あるを以て森田吉林領事に對し嚴重取調の上至急報告す可き旨訓電したれば外務省にては右取調の上的確なる原因事件の眞相經過判明次第之を發表する事とし森田領事は現場に急行取調中なりと（東京特電）

犠牲者氏名

日支兵衝突事件に於ける犠牲者は既電の如く戰死十七名負傷十八名內一名死亡なるが其氏名左の如し（長春）

戰死者（十七名）

滋賀縣大津市高見町九番地 步兵中尉 住田米次郎
奈良縣宇陀郡神戸村大字大東 步兵軍曹 森井菁吉
同縣磯城郡大福村大字新庄一四三番地 步兵軍曹 白羽吉三郎
同縣吉野郡宗檜村大字檜川迫番外二二四ノ三 步兵軍曹 和田仙次郎
以下第一中隊
同縣同郡龍門村三津百四十參番地 上等看護卒 下出則造
同縣添上郡辰市村古八十八番地 一等卒 山尾榮吉
大阪西區三軒家上ノ町九五番地 二等卒 前川正一
奈良縣南葛城郡吐田鄕村宮戸三四番地 一等卒 吉本龜三郎
同縣北葛城郡新庄村中戸三四番地 一等卒 足高奈良藏
同縣宇陀郡御杖村大字菅野一六四〇番地 二等卒 井上俊三
同縣吉野郡賀生村江出二十二番地 二等卒 辻本順一
以下第四中隊
同縣磯城郡川西村大字吐田十一番屋敷 伍長勤務上等兵 村井恒治
同縣吉野郡大塔村大字篠原二七番屋敷 一等卒 吉岡末吉
同縣北葛城郡瀬南村大字南鄕一五一番屋敷 一等卒 池田善吉
同縣同郡馬見村大字大塚五七番屋敷 二等卒 乾一男
同縣山邊郡[illegible]村大字古寺三〇四番屋敷 二等卒 中島新太郎
同縣吉野郡大淀村大字藥水四番地 二等卒 中尾義一

重傷者（六名）

廣島縣福山市東町六三四の一 步兵中尉 橫山鑑（死亡）
大分縣北海部郡下北津留村大字井村三三番地 步兵中尉 椎原修一
奈良縣北葛城郡新庄村大字北道穗六三番地 步兵一等卒 堀川惣一
同縣宇陀郡政始村大字道四九 步兵一等卒 高岡佐一郎
同縣磯城郡多村大字御多四九二 同 一等卒 枡井藤四郎
同縣吉野郡下北山村大字下桑原六〇番地 同 杉本喜三郎

輕傷者（十二名）

香川縣木田郡坂の上村大字上田井 步兵少尉 川原直一
奈良縣奈良市淨言寺町二六八番地 步兵特務曹長 山田貫造
同縣山邊郡朝和村大字竹之内五〇 步兵一等卒 澤邊兩太郎
同縣吉野郡賀名生村大字黑淵八六八番地 步兵二等卒 丸谷角治
同縣北葛城郡陵西村大字大谷六八 同 稻葉善次朗
同縣生駒郡平群村大字久安寺一九五 同 稻田末吉
同縣宇智郡南阿太村大字島野一二二番地 同 中西淺次郎
同縣北葛城郡磐尾村大字菅野村六一九番地 同 菊川義末
同縣添上郡櫟本町大字和爾一三九 同 谷孫十郎
同縣磯城郡川東村大字鍵五二番地 同 金水瀧藏
同縣添上郡明治村大字北永井五五 同 松本龜太郎
同縣北葛城郡浮孔村大字勝目一〇五番地 同 寺田藤地

石川島に 殺氣漲る

職工益々不穩

石川島造船所職工は廿一日朝作業開始時間に至るも作業せず構内工場に集合不穩の言動に及び午前九時頃に至り全部の職工三千五百五十二名殺氣漲されるが午前九時頃に至り大廣場に集合し密議を凝せるより月島署より巡查出張嚴重警戒せり職工側の要求は賃錢五、六割の値上にあり（東京特電）

青島でも 脱獄騷

三十七名の中 十一名逮捕

十八日青島監獄の支那人囚徒三十七名脱獄を企て內十一名を逮捕せり（青島電報）

共益社荒し

本町署の手に捕はる

市内永樂町一丁目三十九番地無職延明煕（三五）は昨年九月南大門通共益社所有倉庫より細布三十疋及び大巾物五反を窃取せしを手始めに同倉庫より二度に亘りて布類を盜みたる外二件を加へて價格約三十五百圓に上り物品を窃取せしこと發覺し本月一日本町署の手に逮捕されたり

心當りの者は

本月初旬より十二日に亘り龍山各戸を荒したる兇賊鮮人金化春は此程南山森林中にて西田上等兵と格鬪の末逮捕され被害品は大抵被害者の手に返りたるも猶精良具純金蛇巻指環（高木一〇〇年と刻彫あるもの）其他衣類等被害者不明の者妙からず心當の人は龍山憲兵隊に申出られよしと也

溺死

二十日午前十時頃南大門通り二丁目三十二番地浦長方給仕林七萬（一四）は龍山元町四丁目發電所對岸にて水泳中誤つて溺死し身柄を

丑の日が來た

鰻の相場は

廿四日は土用の丑の日、昔からの慣習で鰻の一串位は物價騰貴に係らず食て見たいは人情である今年の鰻の相場を聞くと江戸川では語る『鰻の相場は他の諸物價ほど高くなりません生の鰻が百目が四十七八錢から五十錢止まりです昨年が四十錢位ですから左程高くはならない譯です燒いたのは一人前が七十錢昨年は六十錢位でしたから是も然う高くはありません當地で召上がる鰻は南鮮から來るのですが丑の日には例に依つて鰻に羽が生わる事でせう』

大猪を射止む

重量四十貫

慶北英陽郡青杞面は時々猪群に襲はれ晝夜の別なく農作物を荒らさるゝより洞民は之が驅除を同地駐在所へ歎願し居れる矢先去る十四日猛虎一頭現はれたりとの報に接し靑杞憲兵駐在所にては同日猛獸狩を企て洞民數十名と共に同地花浪山を狩立てたるに五頭の猪現はれたれば直ちに一齊射擊を行ひ中一頭を射止め一頭に重傷を負はしめたる上引揚げたるが射止めたる猪は體重四十貫稀有の大猪なりと（大邱）

新潟の大火

全燒百戶

二十一日新潟市に火災あり百戶燒失せりと（新潟電報）

酒で命を拾ふ 大邱府

大邱府町居住金泰英（三七）は貧困の餘り自殺を企て二十日夜十一時頃此の世の名殘りに大酒を呷りたる上予て用意せる鍛冶用の發生硫酸五十瓦を服用したるにより間もなく苦悶し始めたるを近隣の者が發見し直ちに大邱警察署に届出でたれば警官は醫師を伴ひ同人宅に臨檢したるに已に七轉八倒餘程の重態なれど時既に遅し更に病院に入院せしむる事も出來得ず其儘放置せしめ居る中嘔に仰ふりたる酒の爲めにや劇しく吐瀉を催し劇藥を吐き出したるを以て漸次快方に向ひつゝありと（大邱）

音樂演奏會

滿鐵龍山社友會にては二十二日夜七時より目下來城中のグリークラブ一行を招聘し社員慰問の爲め演奏會を開催す

實兄林命濟に▲又十九日午後漢江人道橋下流約三百間右岸に四十歳位の鮮人男の溺死體漂着し身柄は京城府に

東京燈しるべ

八月號の婦人世界で最も風景のよい所、最も涼しい所、最も知られぬ絶景と云ふ三問題を提出して知名の人々に答へを求めた結果を發表してるるが比較的明瞭に感ずるものは餘り世間に知られぬ勝地を擧げてるのに[illegible]

○明治屋社長逝去 株式會社明治屋社長米井源次郎氏は昨冬以來病氣中の處腎石炎にて二十日午後十時東京の自邸に於て永眠せり葬儀は二十三日午前十時自宅出棺青山齋場にて執行すべしと因に同京城支店長内田龜太郎氏は二十一日夜南大門驛發列車にて東上せり

○圓明寺の胡瓜加持 旭町一丁目日蓮宗圓明寺に於て例年の通り來る七月二十四日土用丑に付き當日早朝より大師傳諸病胡瓜加持を修行する由但し參詣者は一人前瓜一本宛持參の事

本日溫度

（廿二日午後二時）華氏九十一度（本社[illegible]）

演藝案内

▲大正館 日本活動寫眞會社代理店 電話八七三
◎二十八日より特別大興行 ○東京市休戰祝賀會の實況 ◎ニコニコ 捕鯨船 全二卷 ◎劇 姉妹 世界的連續 第三回 七眞珠 全廿九卷 內第九、十 ◎劇 米國西部の大山谷を背景として花の如きイルマ孃は數千丈の絶壁より落ち命懸けの大冒險は血湧き肉躍り實に壯烈なり
◎劇 日本銀次 四卷 新派『よい日の花』日活新派撮影 松之助 關太郎 合同劇 武士の家に生れたる銀次は幼時に父親より[illegible]

◎喜樂館 本町一丁目 電話九七番 有樂部改
七月十八日より特別大興行 ○東京市三大祝典の實況 ▲米國キーストン社作 滑稽 ▲ダンマークスタンダード社傑作 悲劇 人情 救はれた女 全五卷
▲劇 徳川家康 全八卷

本町二丁目 電話一〇五〇 壽舘
當る七月廿四日より午後五時開演 元祖娘節 劇團 美家一座 ▲三番叟 ▲前狂言 ▲切狂言

人間の體格は

大人二百餘個の骨で組立られてゐる此の骨と骨の間には軟骨で繼められてゐるがこの軟骨は姿勢正しく伸ばせば脊が高くなる軟かい骨がある全身の骨が少しづゝ伸びても脊が二三寸伸びるは何んでもない今回

仲長器が發明せられ男でも女でも今居る所で輕便秘密に使用するのに[illegible]
京橋入船町壹ノ壹

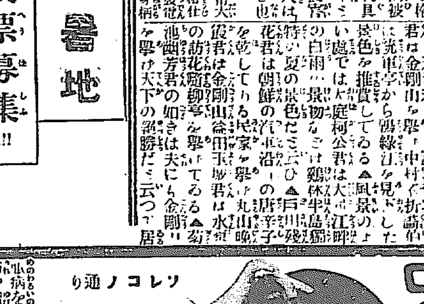
新藥御披露 安東縣 玉の家 中尾玉渚

結核專門 古賀病院 九州線 田代 鳥栖驛ヨリ四丁

クダリはらによし
鮮滿無比の特約店に販賣す

月經不順を快く通し 月經不調を快く調へ 月經困難を快く治す 月經の滯り逆上目暈に 月經に伴ふ子宮血の道頭痛 氣鬱逆上等を根治す 又持藥とせば子宮病を治す 本舖 大阪 丹平商會藥房

てんかん
ヒキツケル病で御困難の方効能正しき良藥當家に有り返信料添附御申込有れば直ちに詳しく通知す 兵庫縣明石町 辰巳米所



眼病を、不潔い布や指頭で擦るは目の爲に悪いから、ロート目藥は消毒し[illegible] 定價 本舖 大阪 東京 ○點眼器

第五版

大連より

財産半額寄附

荷役問題…虎疫…其他…

大連埠頭荷役問題は一時喧擾を極め、大連海運業者、荷主等滿鐵に向つて荷操方法改善を迫るあり、或は之が原因を苦力の勞働能率減退なりと爲すあり延いては埠頭苦力供給者たる福昌公司相生由太郎氏の苦力供給投出となり種々紛糾を極めたりしが荷操に對する滿鐵當事者の苦心と積取り船舶の增加によりて、平調に復したるを以て相生氏が投出したる苦力供給問題も、差し當り氏に代るべき適材の物色難きに依り當分現在の儘繼續する事となりたりと

虎疫侵入に大いに驚き之が豫防警戒に全力を擧げて努めつゝありしが、其後發生絕てなくなりしを以て一時中止せし大連濱町滿鐵海水浴場は十九日より再開し一般に開放する事となりたり

滿鐵は這次の職制變更に依り課數增加せるが、且從來こて事務室の狹隘を感じ居るを以て、今回の新設課に充つべき室なきを以て臨時に大連市役所三階全部を借受技術部を此處に收容する事となり、廿一日引移りたる之に從來の各課室の移動ありたり

天野節治郎氏は全財產百萬圓中其半額五十萬圓を大連市公共事業費に寄附する事とし十八日正式手續きを了せり、今や貧富の懸隔益々甚だしからんとし、資本家勞働員との間愈々險惡の傾を加へんとする此際無資產者と資產家との調和を保つ爲めの公共施設に資せんとす、眞に機宜の善擧として大いに推稱すべきなり、且之れが導火となり、現下危急の社會政策に貢獻せんとする富豪續出するや知るべからず、もし然りとせんか此の擧は現在の大連に對し實に意味深きものたらざるべからず

六月九日附發布されし關東廳令大連市建築規則に依る主任技術者檢定規則は現在斯業に從事せる一現業者に對し青天の霹靂の感を惹起し其後之に對する善後策を數次重ねたる結果調査委員會を組織し過般來調査研究をなしたりしが此程漸く調査終りたるを以て案を具して關東廳に申請すべしと

大連市役所にては吏員の給與を官廳に準じ支給し來りたるが、昨年官吏や滿鐵社員等の臨時手當支給ありし際豫算の都合上其の運びに至らず、吏員中には若干不平の聲ありしが本年度より官吏と同程度の給與をなすべく三割の臨時手當を支給しつゝあるが最近官吏は又復臨時手當の追加あり本俸の十二割八分を支給せらるゝ結果市吏員こなしむる給與は官吏より三割安こなりたるを以て市にては更に二割の追加手當を支給する事こし若し官廳側の臨時手當が更に增給せらるゝが如き事こならば、多分之に準ずる事こなるべく來年度豫算に計上すべき意向ありこ

遼河と營口（一）

遼河は源を蒙古に發し滿洲を貫き渤海に入る大河にして總延長三千八百支里と稱せられ舟楫の便あるは本流に於て鄭家屯營口間一千四百三十八支里支流にありて太子河は徐家店子三叉河間四百支里渾河は長灘三叉河間四百十支里計二千二百三十餘支里實に滿蒙交通の中系をなす、古鐵道の敷設せられざる以前は沿岸の物產は悉く此河を通じて營口に運ばれ同時に營口に輸入せられたる內外雜貨を歸荷として移入し之を奥地に分布す故に營口の盛衰は一に遼河にかゝれりと云ふも過言に非ざるなり近時東清鐵道は滿鐵會社に繼承せられ諸般の設備完全するや物資の吸收を奪はれしも年來繁盛を極めたる遼河の水運業者は益々上流地方に根據を固め滿鐵本線と比較的遠距離の東蒙に手足を延ばし

鄭家屯の市場 を唯一の集散地として營口との交通益々緊接を加へ其勢力侮るべからざるものありき。然るに四鄭鐵道の開通により鄭家屯は鐵路營口、大連、安東の各海港に南滿各市場と連絡するに至り茲に再び遼河の水運の一大危機に遭遇せり然れども其運賃の

低廉と舊慣とは 一朝にして鐵道の打破し得べくもあらず本年の如き鄭家屯輸出の大宗たる特產物は五十二％迄水運によりし程にて決して侮るべからざるなり唯惜むらくは此河に二大缺點の存する事是なり曰く年々河底の遊塞する事曰く結氷、結氷の時期は上流と下流一樣ならざれども

大抵冬期四月間 こし鄭家屯にありては例年結氷は十二月上旬解氷は三月下旬營口にありては結氷十二月下旬解氷三月中旬なり結氷の前後は氷塊流下して甚だ危險なると共に翌日の天候變化豫測すべからざれば結氷解氷の前後二十日間は航行せざる例なり

河底の遊塞は 沿岸の地質泥土及細砂の混合なるを以て年々水の浸蝕によりて土砂を流出し河幅擴大して次第に水深を減じ舟楫の航行困難を來しつゝあり斯くして滿蒙交通の一大天惠たる遼河は次第に其價値を殺がれつゝあるなり惜しむべきかな（未完）

サイドカーに機關銃 陸軍の新武器

[illegible]して[illegible]の騎兵隊を[illegible]する任務を帶びて居る[illegible]であるだけで一人が運轉する一人が砲手と成る都合で之れは挾[illegible]

某軍事通は云ふ「研究定しつゝ、[illegible]出來ると云ふのだ[illegible]主として交通機關の價値は[illegible]ない西伯利の樣な土地で使用すべきもので急報に接した場合等[illegible]

合水泳會[illegible]は例年の如く大正公[illegible]國下南海岸に開設し二十日を以て開會せるが毎日二時間宛の水泳教習をする筈にて本年は既に[illegible]なし[illegible]水泳會に[illegible]さ本年第二回の水泳をなす本年の水泳會員は各小學校の六校男四百四十八名女百三十三名高女[illegible]

烽火未だ擧らず 兩省の丁男…夜兵を練る

吉奉戰切迫の折柄哈爾賓に於ける支那人は只管晤諉盲に取り止めなき噂で持ち切り居る有樣なり勿論埠頭區は何れも安全地帶として今回の事件を多く對岸火災視し居れるも迫かに傅家甸は相當の反響を認り居るもの、如し

軍隊屢々南下 急命に接し各派遣地より哈爾賓に歸著部隊は先頭に赤旗を押し樹て來し來るもの日々多數に達し到る所々しき樂音と共に市街を練り歩き何れも一旦支那兵營に入りたる上營前引込み線によりて馬匹軍器と共に南下する次第なるより目下兵營と引込み線とは恰ら戰場の如き觀を呈しつゝあり

警備の手薄 猫も杓子も集めて長春に向ふに急なる支那軍隊は哈爾賓の警備を俄仕込の巡警を以て之れに充てしも尚人員不足なるより各所の警備頗る薄弱となりしかば市民一般の此の間隙に乘じ馬賊等の跳梁を見る事あらざるかと頗る憂慮に堪ざるものあるが如し（哈爾賓）

銀行依然休業 傳家甸に在る支那各銀行は目下殆ど休業の姿に在り官銀の如きは吉林より其の金庫を封じられたる儀なれば其の後一時小康の如く見受けたるも昨今又々險惡となり來れるより吉奉黑何れの軍の來れるにも其の掠奪を恐れ相當金高の物或は現金等は何れも埠頭區に持ち來り萬一の場合直ちに埠頭區に避難すべく準備を整へ居る者多く其外奥地田舍より頻りに避難し來る者續々ありと云ふ

車馬徵發盛 昨今傅家甸に於ても盛んに荷馬車客馬車の徵發を行ひ其の數百輛に達し彼等は其徵發を免れんが爲め埠頭區より傅家甸に向ふを避け或は稍に休業して馬車の隱蔽を圖ると云ふ次第なれば夫れを發見せむとする巡警其の眼を免れむとする馬車夫の走馬燈の如きが

前途猶暗澹たり 兩軍の一戰は到底免れざるべし

奉天軍は愈々全部隊の運動を開始し既に鐵嶺、開原其他の部隊は戰時武裝を施し意氣非常に緊迫を示し居り吉林軍も引續き大部隊の來着を續けつゝある一方

或は調停者の 奔走により圓滿解決を告ぐるならんとの說あるも現狀の儘日一日と推移するに於ては調停者の功を奏する迄に

兩軍の衝突を 來すべき狀態にて一般殊に一時非戰論に傾きつゝありし人々に於ては勿論大勢の定まり居れる吉林軍の運命到底

大なる程度には 至らず寧ろ有力なる調停者の出現を期待し居るが吉林軍の厭意ならんが累卵の危きにある兩軍の關係と現在の

四圍の狀態に 照し或は一戰を免れざらんとの觀測有力となりつゝあり（長春）

全州商銀の新設 資金五十萬圓千株公募

全州商業銀行設立の議に就ては先月來全州在住內鮮有力者の間に於て屢々交涉熟議を重ねつゝありしが愈々今回資本金五十萬圓の株式組織となるに決し五千株一萬株の內九千餘株は發起人に於て之を引受け他を公募に附すべく十八日右設立許可の申請を發起人より當局に提出せり

遊廓閉さる 支那兵の亂暴 數百の妓女避難

吉林兵は長春北門外平康里張華堂方吉林兵多數來り酒代を出せと强要せしも金庫內の貴重品は悉皆他處へ預け込みて空なりしより帳場にありし衣類數點を强奪し且つ暴行を始めたれば附近に散步中の兵士も雷同し硝子窓を破り招牌を毀す等片端より亂暴を始めたればスワ兵士の掠奪よと同廓約六七百名の抱妓女が泣き喚きつゝ逃げ出し我附屬地及び遠く大連奉天方面迄避難せるより一時は火事場の如き混雜なりき（長春）

松花江減水

（哈爾賓）晴天打續きたる爲め松花江は水量甚だしく減じ深き處も四尺餘に過ぎず大部分は徒步し得る程となりたる爲めに汽船の航行不可能となれり

仕向地一變 關門地方へ 橫斷航路によらず

清津に於る昨今の船荷出廻り狀況を見るに例年の例に依り夏枯閑散の狀態を呈し茲許漸次秋收期迄は此の狀況を持續すべし而して從來日本海橫斷航路に依り移出せられつゝありたる物資は昨今仕向地の相場弱氣配を呈せる爲め此方面の移出經由は不引合の傾向を見るに到れり依つて關門經由の有利なるを以て此儘推移するに到らば或は今後暫らくは橫斷航路の寂寞を見るに至らずやこ（清津）

東西南北

▽△物價騰貴で大喜び▽△ 朝鮮藥にて以を製造する事が時各地に普及せられしが近頃の物價騰貴こ以も一枚五十錢位となり農家は大喜びなりと

▽△海水浴の季節來る▽△ 木浦海水浴場は十九日より愈々開始せられ慶北浦項の海水浴場も本年設備を新にして來る二十七日頃より開くべしと

▽△盛な密陽川の鮎▽△ 鮎の名所なる密陽川の鮎は昨今六七寸位になりたるより漁獲する者多く密陽楡川の兩驛（京釜線）は僞に販ひ居れりと

▽△新手の朝鮮人詐欺▽△ 全南寶城郡會川の手柱夏（二[illegible]）は木浦より內地行の鮮人二名の切符代四十五圓受け取り松汀里行切符を買與へてドロン

▽△相撲の入場料七圓▽△ 北京の九州京都合併相撲入場料特等三弗にて日貨に換算せば七圓余となり追込の三等にても一弗で大入札止なりしこ

▽△師範生の營養不良▽△ 安東縣支那師範學校寄宿生食費は一日十六錢にて糯米と麥と外米を交ぜ副食物も悪く生徒營養不良にて病人續出すと

○選擧（麗水） 全南麗水學校組合議員選擧結果當選者左の如し 田坂延次、井上米吉、本地元幸、若月二郎、齊藤吉松、吉田森造、今木武一郎、中川吉太郎

○女事務員募集（大田） 大田郵便局に於ては今回女子事務員を募集する由なるが其資格は年齡十六歲以上にして高等女學校卒業生又は之れと同等以上の學力を有するもの及び高等小學校卒業者にして其成績優等なりしものなりと而して月收は二十圓以上との事なり

三寒四溫

元山の某氏が先頃同地の名士を招待した際、成北名物の[illegible]聞くに成北の趣向を鯛を料として刺身ツタ今流れた評判の[illegible]燒、吸物等宜しくあつてソレから口取は例の名物の豆元、其の外土地名產の爲物でお膳を賑はせ其の上成北產の熊も鰐も添へたとのこと▲是も成北の話であるが同地方產の麻布は洋服地に頗る適してゐるから昨年あたりは一反三四圓であつたが本年は六圓に騰貴したさうだソレでも廉くつくから大連旅順其他朝鮮各地の商人が來て買占めてしまつたとのこと

避暑地投票用紙（一道一箇所に限る）

道名	地名

京城日報社

商況

株式

東京株式 至急電報

銘柄	二十二日前場大引	前日比較
東株	三三三、一〇	二、四〇安
同新	三一八、〇〇	七、九〇安
滿鐵	一八一、〇〇	一、九〇高
一新	一五八、九〇	、四〇高
二新	一二三、二〇	、六〇安

大阪株式 至急電報

銘柄	二十二日前場寄付	二十一日後引比較
大株	三三一、〇〇	三、六〇安
同新	三四九、九〇	五、九〇高
日郵	二九七、〇〇	一、〇〇安
同新	一四〇、八〇	一、二〇安
商船	一九〇、〇〇	、四〇安
同新	一三八、八〇	、八〇高
鐘紡	三八九、一〇	三、九〇高
同新	三六五、九〇	、一〇安
東紡	二六三、九〇	、一〇安
東糖	一八七、一〇	八、二〇高
常米	一六四、九〇	……
上取	一五一、五〇	……

京城現株 標準值段

銘柄	▲印騰貴 拂込額	△印下落 時價
仁取	二五、〇〇	一五四、〇〇
朝銀	五〇、〇〇	六〇、〇〇
朝郵	二五、〇〇	四二、〇〇
電興	一五、〇〇	一八、三〇
皮革	二〇、〇〇	二七、〇〇
京畜	一二、五〇	一五、五〇
朝紡	一二、五〇	二一、〇〇
朝紙	一二、五〇	三一、五〇
商銀	二五、〇〇	六二、〇〇
南毛	一二、五〇	三四、五〇
鮮煙	二〇、〇〇	二四、〇〇
仁倉	（拂利）	八五、〇〇

仁取株底强 賣物一巡か

仁取株は本日百五十四圓八十錢にて僅々十枚の商內を見たるのみにて賣物聲共に聞かず恰かも世間より全然忘れられたるが如き觀を呈し居れるが之れマバラの利喰物一巡片付きたる證左こして見らるべく一面內地有力筋へ流れ込み株數も尠なからざるべき模樣あり今後の安値は買ひ難き形勢に在り取引所の出來高にして茲當分昨今の好勢を持續するものとせば賣物薄こ相待つて强氣の理想値たる二百圓出現も案外早かるべしと觀測さる

仁川株況 思惑者の利喰

[illegible]踏みに不勢の成行を示したる仁川取引新株も小口の賣物は殆ど大手筋に集注されし傾向にて更に大口買を唱へつゝあるが買容易に安く手放さず逆に安値は五十二圓迄を保合ひ目先利喰ひが二回の出來高を見たるも買氣旺盛[illegible]豫定相場の二百圓現出するは近き將來ならんと某消息通は語れり

滿鐵株好勢

東京株式は昨日十七圓三十錢高の爆發を移して買氣旺盛に六十三圓四十錢の爆發を報じたるも本日は東株十二圓四十錢安新七圓九十錢安と忽ち反落を告げたるが滿鐵株獨り優勢にして昨日一圓四十錢高第一新昨日五圓又一圓九十錢高第一新四十錢高に加へ本日四十錢高こ第二新のみは六十錢安こなりし

朝紙ヂリ高

朝鮮製紙は王子製紙の娘會社こも云ふべき關係に在りて最近王子製紙の値上りに刺戟を受けたると且つは操業開期の切迫に伴ひ買氣頓に旺盛となり相場も亦ヂリ高の步調を辿りつゝあり

下旬の玉關係

大阪市場に於ける月初以來の商狀は特殊株には可成り買氣を起したれども之れを一般的に見れば氣味ぢは兎角面白からず即ち斯る形勢の下に特に氣味の不良なりし大株新株等には知らず識らず買偏傾を招きて相場案外に底堅く砂糖株類は昨今の商狀最早其恢復の容易ならざるを感ぜられ乍ら取組關係上全般の氣配を挽くに足らず其他の特殊株にては特殊の買方ありて場合によりては正株を引かんとするの態度をなし居れるなど要するに全體より見たる相場は一種玉の整理が行はれたると共に主要株の八分通りが賣方に歸したる一事は確かに軟派の勝味にして之れ等の關係によりて復月末高を豫期せるもの傾向となりしが玉關係を基礎として見る月末相場は買方自身より買上げる分量も尠からざるを見込みて可なるべきかと

本日の商內株

仁取百五十四圓八十錢にて十枚▲朝紡二十一圓五十錢にて八百枚▲京紙三十一圓五十錢より二圓五十錢にて三十枚▲殖銀六十二圓にて五十枚▲滿鐵第一新百五十錢にて百五十枚▲王子製紙六十四圓五十錢にて五十枚▲久原新六十四圓にて百枚▲蔦屋三十五圓五十錢にて二十枚▲仁倉八十四圓五十錢にて二十枚

東亞煙不振說

近來新會社の權利株熱昂上に投じて舊會社も亦增資を爲し而してプレミアム付公募をも爲す有樣なれども有繫に市人も狂せずと見へて頃來募集中の東京證券の如き應募頗る不振にして到底豫定の申込無かるべしと尚廿三日より公募せんとする東亞煙草の如き亞細亞煙草に氣を取られたる後の十五圓なご云ふプレミアム付きには應ずる者頗る少なき模樣にて茲權利株熱冷却の傾也と東京日日子は報じ居れるが果して如何にや

政府關係株昂騰

昨日本社入電に依れば東京市場に於ては鮮銀五圓五十錢新八圓五十錢高東拓五圓五十錢一圓五十錢高値殖銀六圓高を報じ重に政府關係株昂騰を示しゝるが之れが原因こして傳へらるゝ處に依れば現內閣は前の物價調節策失敗に鑑み穩健なる政策を採り米穀の供給數量を增加する一面通貨を收縮し以て諸物價を調節すべく國庫債券八千萬圓を發行せるも亦此目的より出たるものなりとせざるは雖も五六朱の利廻りに甘せざるは資本家共通の現象にして此效果乏しかるべし左れば民間の資金を吸集すべき好餌として政府關係事業會社をも增資せしむるが如き亦一策たるべく若し此政策を採るこせば滿鐵東拓の如き或は日銀鮮銀の如き政府關係株の增資實現は早まるべく觀測され居る爲めなるべしと云ふ

大阪竹原商店特約 東京山一合資會社特約 公債株式現物賣買 新田耕市商店 京城櫻井町二丁目 電一八八一・二三九〇

仁川期米 二十二日後場

米[illegible]の四十三圓[illegible]りに市場の人氣一變して、買氣旺盛四十二圓の關門を突破し[illegible]五錢こ前止めに比し四十一丁[illegible]の買に四[illegible]より中限は㋾買に四十一圓八十五錢こ踏込ま[illegible]れの買に九十五錢返し二錢こ[illegible]二回の新高もありて五百五十枚の商內を見たるが後益々買注文輻輳の有樣なり

値段	四節	三節
當限	[illegible]	[illegible]
中限	四十[illegible]	[illegible]
先限	二千九百石	[illegible]
出來高	二萬六千石	

米況

東京期米特電

二十二日前場 當限寄付 四十圓八十錢 中限寄付 三十八圓八十錢 二十二日前場 寄附 三八、五〇 高値 …… 安値 …… 止め …… 日後場 ……

大阪期米特電

二十二日前場（登） 當限寄付 四十一圓九十八錢 中限寄付 四十圓〆九錢 二十二日前場 寄付 三八、二二 高値 …… 安値 …… 止め …… 日後場 ……

神戸期米特電

二十二日前場 寄附 三七、五九 高値 …… 安値 …… 止め ……

下關期米特電

二十二日前場 前れ上げ

	當限	中限	先限
寄付	三九、八七	三九、八〇	三八、一〇
高値	四〇、〇〇	三九、二五	三八、三三
安値	三九、八七	三九、〇〇	三八、一〇
止め	四〇、〇〇	三九、五五	三八、三〇

仁川期米 二十二日前場（折直り乎）

▲第一節 前日直頃觀の賣恐ひこ買方の手結急ぎに不勢に打止めし氣先大阪卅七圓七十九錢の寄三十八圓十二錢こ更に高値を報じ一方釜山群山の正米氣配は此處又跳返し模樣こなり終始先高觀念に支配されつゝある鮮人間の買氣を唆り來りしものゝ如く昨午後以來鮮商の思惑漸く熾烈こなり外に仁川筋の買氣をも加はへ今朝は地摺極上品三十九圓にて俯賣物乏しき有樣にて昨朝來に比し約五六十丁方の反騰を演じ前日の高値上廻りの勢を示せり

▲第二節 ヂリ〳〵安の折柄田店より賣物現れ六十二錢こ下押せしが押目は圓㋾㋒の買狙ひに下溢り五六錢を採合ひ八錢こ返したるも戾りは手結急ぎに四錢こ押して引

▲第三節 中田賣㋾買に五十五錢先六十錢より㋾買に始まる縱いて㋾田買に八錢こ返せしが大阪電報の延著に氣迷六錢こ持合に引

▲第四節 中田小乘替買に㋾の買向ひありて五十七錢より三錢こ堅さへ田店は一轉逆に六十錢買手を振り跡五十三錢こ賣拔けしが安値は㋾㋒より買手を振り二千石の商內を見たるが田買㋑烈買に四錢こ弱み引

▲第五節 先押目は㋾㋒㋠買に六十錢こ引締め戾りは㋑田の買に四錢こ不勢の散會を告げたり

値惚賣人氣

前日値頃思ひこ阪地安を豫想し好く買込みたる折柄昨後場の大阪高を受け今前場には㋾㋒田の猛烈に買手を振りしより各店より賣物を出したるより高値を出現せしが利喰ひを行ひ六十錢こ下押けし[illegible]十五六錢を採合商內閑散に打止めしが市場の人氣は相變らず値惚れの氣味合ひなれば阪地の反騰を移さんか高相場の一波瀾を演ずるならんか

市場雜觀

米界の形勢は一變して漸騰を辿り昨後場は四十一圓七十錢こ以前の高値に迄回復し來たが場面の商勢には存外反撥力が鈍いので買方が手詰を急ぐので客筋から買方が手詰を急ぐのこ客筋らんこして居るが買募る所は二米から買方が群山が七十丁高仁川米は又復釜山群山が七十丁高仁川の如き內地買ひ注文が一向振はぬので正米筋も無茶な買進みは

二十二日前場	寄付	高値	安値	止め
一節	四十二圓三十五錢			
二節	四十二圓六十二錢			
三節	四十二圓六十六錢			
四節	四十二圓六十錢			
五節	四十二圓六十錢			

公設値段 出來高 二萬〇二百石 帳入値段 中限四十一圓六十錢 先限四十一圓五十錢

京城正米市場

此兩三日米內地商談中絕の爲なるが期米は別項の如く大阪前寄三十八圓十二錢こ更に高値を報じ一方釜山群山の正米氣配は此處又跳返し模樣こなり終始先高觀念に支配されつゝある鮮人間の買氣を唆り來りしものゝ如く昨午後以來鮮商の思惑漸く熾烈こなり外に仁川筋の買氣をも加はへ今朝は地摺極上品三十九圓にて俯賣物乏しき有樣にて昨朝來に比し約五六十丁方の反騰を演じ前日の高値上廻りの勢を示せり

籾又々引返す

籾は現物相當に入荷を見つゝあるも內地の正米澁こ鮮米積取りの聲に荷主容易に手放さず本日は穀良都の十一錢以上を唱へて頗る强硬の成行きを示せり

仁川正米市場

內地買注文の見送り姿に不勢に陷入り四十一圓二三十錢を唱へし三等紳力米も又復期米の反撥を移して氣勢を强め四五十錢高の四十一圓七十錢見當に買進みしが賣方は前途を悲觀し容易に賣急がずこは云へ買方も內地注文の振はざる爲思惑的の買進みは値頃觀より警戒せられしかば期米高に牽制されて高値を主張する丈にて商內は到つて閑散なり地摺玄米三十九圓八十錢賣物在米種四十七十錢見當にて弗々小口商內出來せる模樣なり

釜山正米市場

釜山廿二日の正米市場は內地米好調に押され二三十錢高四十二圓五六十錢にて七千叺の商談出來たり右は移出正米筋の買進みに依るものなり大豆は京畿物十七圓六十錢京釜物十六圓八十錢ごころにて取引されたり（釜山特電）

各地米況電報

●二十日 釜山三等正米 四十二圓十錢 仁川同 四十一圓五十錢 群山同 四十二圓三十錢

三品

大阪三品特電

	二十一日後場	
綿絲二十番	十六圓六十五錢	
七月限	五八三、一〇	
八月限	……	
九月限	……	
十月限	……	
十一月限	五一九、一〇	
十二月限	……	

綿布躍進す

大阪三品昨後場入電は當限五百八十三圓十錢先五百十九圓十錢こ好勢を移し殊に綿布十八磅物雜将にて阪地の二十三圓こいふ賣飛を入れたるより氣直り鼻の此當地こしては處判安觀こ相俟ち著しく買氣を進め來れり殊に三エー現物は品拂底こ過日來の見送り反動に一段の氣勢を示し此處取引は昨朝の四百九十二三圓より同午後には五十五圓こ締まり今朝は一躍六十圓十六磅物四百圓丁度に上り此邊商內少からず連れて十先二十二圓丁度二三物廿一圓十錢に蹴上げたり而して內地の高原因は現物の拂底にかてゝ先物は既に來年一迄の賣約行はれ前途の供給懸念ある外最近海外輸出の好望に米棉又上向き趨勢こなれるによるものなり

白米標準値

一等米 四十六圓五十錢

白米小賣値段

十七日より 一等米 四十七錢 二等米 四十六錢五厘

大豆高値持乎

大豆は弗々ながら望入現はれつゝありこ雖現下の手持は總て高値當時の買附品なるより兎角賣人の高張り模樣ありて龍山物は驛乘り十七圓七十錢以下にては手合困難なるもの、如く爲めに商談捗らず見送り狀態なり

仁川米豆取引所仲買人 今村覺次郎 仁川海岸町三丁目 電話長三百六番 三七八番

小豆移出買望

米價の續騰に逆れ內地各方面を通じ昨今之が代用穀類の需要を促進し來りたるもの、如く小豆の如きも輸出口の買物漸次入込み此數日間に約一圓五十錢高に手じ龍山物二十二圓五十錢處に堅き商狀を示し居れり

麥粉依然不勢

麥粉は米價の上向に拘はらず過日の人爲的氣走り相場の崩ひを受け續いて不勢の域を脫せず然かも砂糖反落に氣腐れの折柄値段の如何を問はず買人なく相場も鯉五圓五六十錢こ高値より一圓二三十錢方の暴落にて今一步元の五圓近かくに墜落するや測り難し

橫濱生糸電報

總督府入電（二十一日發電）標準物信州器械上番格の見當相場二千三百五十圓にて益々買進み氣込よくヂリ〳〵高含みなれば今一般高値を見するならむ

雜報

支那粟輸入難

支那粟の產地發送は鐵道側に於て去十一日限り之が受付を停止せるより眼先當分鮮內輸入を望み難く且つ產地たる營口四平街遼陽に至つては殆ご皆無を傳へられ只鄭家屯方面のみに多少の在荷を有する趣殊に十月一日より運賃の引上げ模樣等もあり茲許現物は大に氣勢を揚げ來りし今朝は海上物は十四圓六十錢據十二圓五十錢以上の唱へこなり前日來一二三十錢方を引締め眼先正米高こ需要の增加に益々强調を辿らん模樣あり

精米仲買人 仁川米豆取引所仲買人 田中金兵衛商店 仁川海岸町[illegible]

仁川米豆取引所仲買人 廣澤正次郎 仁川海岸町三丁目 電話長一六〇番 六五番

仁川米豆取引所仲買人 仲買店 電話二八一長二八三番 電略（シ）又ハ（カクシ）

陸軍御用 ツ 各支店及全國有名なる藥店に販賣仕居候 萬一藥店に品切の節は本店へ御注文願上候
朝鮮京城本町 津村兄弟商會 電話一四八〇番 一八七〇番 振替京城一五二一番 電略（ツ）又は（ツム）

資本金四千萬圓 拂込濟資本金參千萬圓 積立金四百貳拾壹萬八千圓
朝鮮銀行 總裁 美濃部俊吉
預金、貸出、割引、海外諸爲替、地金銀ノ賣買其他一般銀行業務並朝鮮滿洲及浦潮斯德ニ於テ金庫事務ヲ取扱申候
支店出張所及派出所 內地（東京 大阪 神戸 下關）朝鮮（釜山 群山 大邱 仁川 平壤 鎭南浦 元山 會寧 羅南 木浦 城津 清津）滿洲（大連 開原 奉天 長春 四平街 哈爾賓 旅順 營口 遼陽 鐵嶺 安東縣 傳家甸 吉林）支那（上海 天津 濟南 青島）露領（浦潮斯德 齊々哈爾）交換所（ニコリスク ハバロフスク ブラゴウエシチエンスク）
右ノ外倫敦、紐育、巴里其ノ他內外樞要ノ地ニ爲替取引先有之候

內科 胃腸病 診察夜九時迄 石川醫院 京城本町一丁目 電話二七二九〇番

土用丑 うなぎ丼蒲燒 京城旭町一丁目 いづもや 電話九九八番取次

宮內省御用達 櫻正宗 サクラ正宗 兵庫縣御影魚崎 山邑太左衞門釀造 櫻正宗發賣元 山邑京城支店 京城明治町二丁目 電話長八四九番 振替貯金口座京城七五番

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通） 入院隨意 酒井婦人病院 電話一六〇〇番 酒井一郎

日本名刀傳　百九

東京　田邊南龍講演

五郎正宗（卅八）

正『ヤ、顔を上げるが宜い、俺は鎌倉雪の下の刀鍛冶五郎入道正宗と云ふものだ』義『それでは日本の宗匠と言はれる鎌倉雪の下源氏山の正宗先生でございましたか、さうとは知らず盲物蛇に怖ぢず、井の中の蛙大海を知らず、自慢高慢致しましたのは甚だ以て恐れ入りました、どうか赦して戴きたうございます、さうしてお弟子にして戴き足らぬ所は一層お教ねを願たいものでございます』正『さうか、それならば改めて弟子にしてやらう』義『何卒お弟子にして私の宅へ御逗留下すつて種々とお教ねを願ひたいものでございます』正『では暫く厄介にならう』と當分正宗は此家に滯在して義弘を導いて遣る合に依つては自分の發明した湯加減を傳授してやらうと思ひ、親切の人でありますから義弘の腕前を愛してスッカリ氣に入つた此れより義弘は誠を盡して取持ち、其中に義弘の兩親も近所に住んで居りますのを呼んで來たものと見へてやつて參り、偏に義弘のことを頼みます、正宗は段々と聞いて見ると義弘七つ八つの頃から近所の刀鍛冶の家を端から覗いて歩いて十四五歳の時には自然と覺へた腕前は素晴らしく上達して、近郷近在は言ふも更なり隣國邊にも並ぶ者なき程となつて、全く天性の刀鍛冶、人々から褒め稱ねられる所から慢心して、十六七歳の時には殆ど他の刀鍛冶を見ること奴僕の如く、兩親も心配して種々と意見をしたが、何しろ業が出來るのですから誰も彼も其高慢を挫く者がなかつたのです、そこで正宗は一ト月程滯在して種々刀を鍛ちまする極意を話し、自分の發明した湯加減を傳授し、また業が上れば上る程謙遜し人に下らねばならぬ、高慢は藝道の防げなりと教訓しましたので素より馬鹿では無い義弘、今では生れ代つたやうに好き人物となり、業も譬へば十段を以て止まりとすれば此男七八段位迄は出來て居つたのですから、正宗に就てから忽ち上達して名人の位に迄進みました、義弘其翌々年廿一歳の時京都へ上つて右馬允と云ふ御位を戴くことの出來ましたのも全く正宗のお蔭であります、其後義弘も鎌倉の正宗の家へ參つて先年の禮を述べ感謝の意を表しましたが、是れが正宗十哲の一人郷義弘の御話でございます、然るに後世義弘の鍛つた刀が餘りございませんと云ふのは殘念ながら義弘は三十に充たずして夭死しました、能く昔からの言葉に『義弘と化物は見た人が無い』と申しますが、全く義弘の刀は數が少うございます、良い品の上に數が少いのでありますから高價なのは當然であります、茲で正宗止められて槌を拂つて再會を約し、土産話が出來たと大層悦んで義弘方を立出で、諸方を廻つて鎌倉へ立戻つて來ました、それとなく心配致して居つた家の者達も大に悦び三日四日は家内中集まつて色々と旅の話を聞いて樂みました、正宗も義弘の話なども致して弟子一同を教訓しました、茲で十年程御話も無く正宗が六十歳になりました時に一人娘のたかが二十歳、容貌も美しく氣質も至つて好い、そろ／＼婿の相談もしなくてはならぬ、夫には多くある弟子の中から相當の者を選んで婿養子として此の家を相續さしたいと、正宗は妻のお定と内々相談しました。

咸南共進會出品計畫標準

第一部農業

(一)玄米、精米、大豆、小豆、綠豆、粟、稗、黍、蜀黍、蕎麥、薏苡、馬鈴薯澱粉、蕎麥粉、林業種子、五倍子、酒類、味噌、醬油の出品は勿論大正八年産のものを出品すること尙ほ之れが收穫貯藏方法に關しては特に注意すること

(二)精米の出品者は精米業者に限ること

(三)玄米及び精米は來年出品期迄の儲保存し出品の際調製付すること

(四)穀菽果實類の品種は其の地方に於ける品質優良なるものを選定し收穫時期を愆らず調製方に注意を拂ひ出品期日迄に品質を損せざる樣保存管理すること

(五)大麻は粗苧(黑皮付)たること但し精苧あるものは之を添付すること

(六)楮は黑皮付たること

(七)莞草は丸乾たること但し割乾あるものは之れを添付すること

(八)蘆草は葉を去りたるものなること

(九)杞柳は白芽(皮を剝ぎ精製したるもの)たること

(十)農業經營及び生産に關する方法成績は農業又は蠶業、畜産業に關する經營方法及び成績を出品すべきものとす故に之れを知悉し得べき相當の書類を提出するは勿論成るべく統計、圖書、寫生畫寫眞及び成績品等をも添付すること若し模型をも添付せんとするものあるときは府郡に於て其の大きさを(見込)調査し豫め報告すること

林業、礦業、水産業、工業及び參考品に於るもの亦之に準ず

七月廿四日

(舊六月二十七日)　木曜日▲友引▲斗▲ひのとう▲やぶる▲黃五

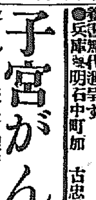
土用の丑の日

大暑　京城時刻　前七、四五

▼五黃▲何となく氣忙しき日也
▼六白▲辛抱すれば爲る程爲甲斐のある日にて萬事進んで吉也
▼七赤▲吉運の日なり開業金談緣談移轉普請一切のことに吉
▼八白▲結構な日にて思ひ立ちたることは之を行ふに利ある日
▼九紫▲願つたり叶つたりの日にて或は金錢の手に入事あらん
▼一白▲兎角骨の折れる日なり
▼二黑▲短氣さへ慎まば物ごと必ず成功すべき日なり萬事に吉
▼三碧▲目上の助けを得るか又金錢の手に入る兎に角幸福な日
▼四綠▲何か喜び事のある日なれど用事は午前中に片付くべし

かっけ　シビレ　足ハレ　腰立ず　困る方　ハガキ　治す
其經重を問はず兎に角一度で照らせ永年の病も自宅で最善療法の詳細を無代で
名古屋市南小川町一丁目　致牛舘

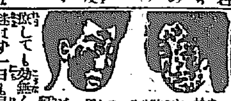
中風病ちき
余か家は祖父及び父と母の三人とも同病にて困難したる遺傳系統にして其恐ろしき實驗により得たる良藥を郵券武錢添附新聞名記入照會の方に詳しく療養書無代進呈す一千人を限り名士題字の療
兵庫縣明石中町　加古忠兵衛



子宮がん　子宮病
及らんそう炎にて腹中カタマリが出來へその下痛み濃血を下し種々の治療も効なく御困難の方手術せずヨキ藥を返信料添へ病名記入申込有れ詳報す
播磨明石裁判所前西　湧泉堂

人から嫌われる　わきが
◎根本的なほせ
◎延び深い人は死ぬ迄なほらぬ
◎化學的療法無代進呈
◎藥學界に名譽ある陸軍一等軍醫吉尾博士先生は男女わきが病にてお困りの人を助けんが爲め數年間苦心研究の結果今回最も進歩したる『チゼン液』と云ふ不思議にヨクキク責任ある藥を發見致しました是迄無責任なヤンダマシの藥にて効無くお困りの人は彼是と迷わず一日も早く東京府下大久保町西大久保五十一東京博愛藥院にハガキで申込めば新療法の本を無代で上ます

不思議になほる　あざ　ほくろ　ソバカス　いぼ



顔は人から笑はれる今なぜ藥學界に名譽有る陸軍一等軍醫吉尾博士先生が數年間苦心研究の結果決して痛なく不思議にヨクキク特効藥を發見致しました是迄種々無責任な藥で治らなくてお困りの人も彼此さ迷はず一日も早く三錢切手封入『東京府大久保町西大久保五十一東京博愛藥院』へ申込は確實安全秘密に治療の出來る自宅新療法の本を無代進呈

古城病院
京城明治町一丁目　電話二四番
内科　小兒科
入院隨意
毎日五名を限り施療す
醫學博士　古城憲治
金澤醫學士　打田義芳

李王職御用　模範牛乳
ニウソ　石鹼洗粉
搾乳場主　京城藥峴町四丁目　獸醫肥塚正太
東亞牧場　電話五二番

姙娠十ヶ月の養生

お産は生理的のもので病氣ではないが偶々姙娠中の養生を怠つた爲めに流産したり、お産が重くて家人を、騒がせたり幸ひ無事にお産が濟んでも生れた赤子は弱くて行末が案じられる樣な場合が往々にあるから、姙娠中の養生は深い注意が入るのである以下少しく姙娠各月の養生法を說て見やう

第一月　姙娠したからつて急に其生活法を改めるに及ばないイヤ急に生活法を變ると却て害になるから身體に異狀無い樣であつたら餘り無理と思ふとの外は其儘にして幾分加減するといふ風にすればよい

第二月　此月になると種々の症狀が現れる食物はなるべく滋養あり且消化し易いものがよい姙婦は身體を冷すのは甚だよろしくないから時候に應じていつも少し温か目にし殊に腹、腰足などは温かにして置かねばならぬそれに付ては順血保温に効ある中將湯を飲むとよろしい

第三月　流産の一番多いのは此月であるから最も注意が入るのであるして旅行は汽車旅行に限らず人力車でも電車でもよろしくない此月の旅行は往々流産の原因となるからである其他重い物を持たりキツイ簞笥を無理に開けたり高い處に手を揚げたりするのはよろしくない又姙娠二三ヶ月から惡疽といつて胸が惡くて食物を吐き出し重いのに飲食ひもせぬに吐き營養不足の爲めに、衰弱して遂に死に至るものがあるから惡疽は姙婦の厄だなどといつて放つて置くのは危險であるから惡疽の症候が現れたら中將湯を飲んで見るがよい中將湯は惡疽に甚よい

第四月　此月も又第三月と同樣長途の旅行は禁物であるソーカと云て天氣のよい日の郊外散歩や近距離の處を電車に乘つてもいけないといふ意味でない夫から姙婦といふものは精神の感動が鋭くなつて平生なら笑て濟むも癪に障たり他人から見れば何でもない事が哀に感じたりするから感情を興奮させるのは良くない

第五月　此月になれば流産は割合に少くなるから異狀が無かつたら少し位の旅行は差支はないが、併し田舍のデコボコ道を人力車で通すなどは勿論いけない腹帶は此月から始めるがよいがこれは胎兒を正しい位地に保ち腹部を冷やさず暖かに保つ爲であるから産前に順血保温の効ある中將湯を飲むがよいといふ理由も是で分るのである

第六月　此月は流産の一番危險の少い時であるから、旅行は此月を選ぶがよい清潔といふことは姙娠には必要なことで姙娠早々から心懸ねばならぬ殊に姙娠中は局部の分泌物が多く陰門炎だとか膣加答兒などに罹され易いから隔日位に入浴するなり宮壯散のヌルマ湯で腰湯を使ふなり局部を清潔にして置かねばならぬ

第七月　此月になつたらマウ旅行はせないが安心である併し一時間や二時間の散歩は差支ないのみならず却て奬勵したいのである食物は消化のよいものを撰び全身特に局部は清潔を保ちまた便秘せぬ樣注意すべきである

第八月　此月からして姙婦に往々浮腫が來るが世上一般の人は産前の浮腫なら別に心配は入らないお産をすれば獨りで治ると平氣で居るものがあるけれども浮腫を打捨て置いた爲めお産の時子供を産まずに死んだ人は澤山にある而して浮腫が下肢に來るものは胎兒が下つて血管を壓迫して血液の循環が妨げられて水氣を來すのであるから此場合には血液の循環をよくする樣に妙を得て居る中將湯を飲めば自然水氣も引き下がる腰から上に來る浮腫は大抵脚氣心臟病腎臟病等から來るので甚だ危險の性質を帶て居るからこれは是非醫者の治療を受置が安心である

第九月　此月に於ける姙婦は概して運動が不足するものであるから人込の電車などは別として寧ろ運動を勸めたいのであるそして此月に於ける姙婦の身體は倦怠になるといふのは血液の循環が惡るくなる爲めであるから運動不足を補ふ方法として中將湯を飲むのは固より忘れてはならぬそれから入浴と精神の安靜と食物の注意は甚だ大切である大小便の通じをよくせないと膀胱や腸の壓れる爲に胎兒の位置が變ずる事がある

第十月　此月になると姙婦は呼吸困難の度が緩和し身體が一體に樂になる併し便秘を來たし或は小水が頻繁になるのは此月が一番である養生も前月通りにしてゐればそれでよい上述の如く姙娠十ヶ月の間適當の養生法を守り産前の養生として中將湯を飲む人は安々とお産が出來るばかりでなく産まれた赤子も丈夫であると目出度く／＼と一家中歡聲に滿たさるのである同劑の發賣は本邦一流の藥舖として知られた東京市日本橋區通四丁目津村順天堂で西支店は大阪市大寶寺町津村順天堂である代價は二日分參拾錢四日分六十錢一週間分壹圓二週間分一圓九十錢五週間分四圓三十錢加減藥は一週間分一圓廿錢三週間分三圓二十錢

夏季に適しいレート白粉のお化粧

レート煉白粉

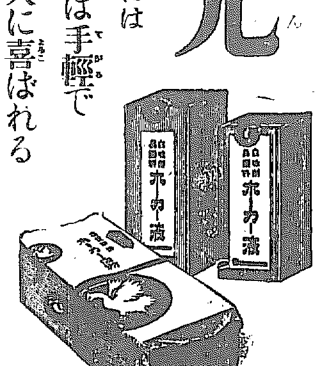
此季節の濃化粧に
レート煉白粉
此節は地脂肪が浮き出て、白粉の附りが兎角落ち附かないものでムいますが、レート煉白粉は、地肌から整へてゆく特殊な原料が配伍されてありますから、お顔にシツクリと落附き、決してお化粧崩れや白さがクスムだり致しません其上此頃の光線は日焦けを致さしますが、レート煉白粉を附けてお出でになれば完全に日焦を防ぎます。

此季節の淡化粧に
レート水白粉
衣着の頃ともなりました。簡單に適りのよいのは清鮮な淡化粧料としてのレート水白粉は、附けて地肌から艶々致しますから、心持ちよく、そして上品な白さがボーツと浮き出ろ美くしさは實に滿々しうムいます。又お手輕化粧として美くしく重寶なものは、クレームレートを下地に引いた上レート粉白粉の粉刷きをなさる事でムいます。

本舖　東京　大阪　平尾贊平商店

レート水白粉と
レート粉おしろい

中元の贈答品には
贈る人には手輕で
貰ふ人に喜ばれる
日ヤケを止め化粧崩れのせぬ
ホーカー白粉



□白さが他の白粉と異ふ
□肌アレ、日ヤケを防ぐ
□ノリノビが一番宜しい
□香床しく艶麗さを增す
□絕對に變色の憂ひなし
定價一瓶　二十五錢

◇コレならば
ホーカー白粉はコレならば夏の白粉として申分がないといふので毎年各御家庭から愛用を忝なふして居りますその「ノリノビ」が程善く濃くも淡くも思ひの儘に塗く點は特に皆樣方から御賞めの言葉を頂いて居ります
ホーカー液中瓶三個入金一圓廿錢　ホーカー液
ホーカー白粉三個入金七十ノ錢　井ーカー白粉
ホーカー液小瓶、ホーカー白粉　ホーカー美髮液
ホーカー美髮液小瓶詰合金九十錢　ホーカーパット
△全國到る處の小間物化粧品店洋品店等に販賣す品切の節は振替か切手にて本舖宛御注文あれ
本舖　東京神田和泉橋　堀越嘉太郎商店
電話神田一四一一　一四四四　一四五三
振替口座東京二五六

滋養強壯劑　GLYCONAL
本品ハ醫學博士佐伯矩先生ガ創製セル營養劑ニシテ五〇％ノ「グリコゲーン」及蛋白脂肪越幾斯分ノ適量ヲ含有ス
グリコナール
適應症。一般虛弱、心臟機能衰弱、胃腸病、結核其他慢性病者等濃厚滋養料ノ充足ヲ要スルモノニ對シ良ク其目的ヲ達スル事ヲ得。
▼百錠入金壹圓拾五錢＝說明書進呈ス＝各藥舖ニ有リ▲
東京室町
三共株式會社

ボチャ／＼坊ツチャン
夏ヤスミ
イツモコレ持テ
ニツコニコ
森永ミルクキャラメル

尼崎汽船仁川出帆
群山木浦下ノ關大阪行
△赤心丸　七月　日後四時
△一心丸　七月　日後四時
△神代丸　七月　日後四時
△君吉代丸　七月　日後四時
△第一有丸　七月　日後四時
○大運丸　七月　日後
○印御斷丸　七月　日
△印一二等船客　仁川海岸通二丁目　電話五九　高杉回漕部

朝鮮郵船出帆
大阪商船と運賃其他連帶の爲め差支有之候に付詳細は本社又は各支店出張所代理店に付御承合被下度
△敦賀行　淸津、城津、元山經由
平安丸　八月　一日　淸津發
　　　　七月廿三日　元山發
△浦汐行　大阪、門司、釜山、元山、城津、淸津經由
忠淸丸　七月三十日　釜山發
　　　　八月　一日　元山發
△雄基行　關門發釜山各港經由
京畿丸　七月廿三日　釜山發
　　　　七月廿五日　元山發
雄基丸　七月廿五日　釜山發
　　　　七月廿八日　元山發
△元山雄基線　元山起點各港經由　雄基間往復
鏡城丸　七月廿五日　元山發
△大阪行　釜山、關門、神戶經由　淸津、城津、元山
越後丸　七月廿五日　元山發
　　　　七月廿七日　釜山發
△關門行　雄基發、淸津、城津、元山各港經由
京畿丸　七月卅一日　元山發
　　　　八月　三日　釜山發
咸鏡丸　七月廿六日　元山發
　　　　七月廿九日　釜山發
△金剛山遊覽便　元山發長箭行　月六回但自六月至十月間
咸鏡丸　七月廿六日　元山發
△鬱陵島行　釜山發浦項及各地經由
盈德丸　七月廿七日　釜山發
△濟州島行　釜山發木浦麗水互發各島經由　毎月一回
昌平丸　七月廿七日　釜山發
○宗信丸○慶寶丸
釜山浦項線　釜山より浦項　方魚津丸
△濟州島行　木浦發東廻及西廻各島經由
東廻　慶興丸　七月廿六日　木浦發
西廻　公州丸　七月廿四日　木浦發
△釜山麗水線　釜山麗水往復
釜山麗水相互ヨリ毎日一回出發
木浦麗水線　釜山麗水ニテ接續
順天丸　七月廿五日　木浦發
△多島海行　木浦發多島海各島
慶興丸　八月　一日　木浦發
△木浦行　仁川發各地經由
天陽丸　七月廿五日　仁川發
△海州行○全州丸○南陽丸　仁川海州相互ヨリ毎日一回出帆
△鎭南浦行　仁川發各港經由
晉州丸　七月廿五日　仁川發
△大連青島行　仁川發芝罘經由
江原丸　七月三十日　仁川發
朝鮮鐵道及社外船ト荷客連絡アリ
本社　京城南大門通（電話長三三一　長三三三）
釜山支店　釜山佐藤町
元山出張所　元山海岸通
仁川代理店　堀回漕部
木浦代理店　山野回漕部
京城荷客取扱店　京城南大門驛前　松原運送店
其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ　電話長一一七〇

汽車時間
京釜線（南行）
南大門發　龍山發　永登浦發　水原發　平澤發　成歡發
京釜線（北行）
湖南線（南行）
同（北行）
馬山線

京城日報　第五版
(年中無休刊)
本紙一部金四錢▲一箇月七十五錢▲郵稅……
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號長六千九番　一長六千九〇番　振替京城三〇三番

……七月十六日より石[炭]……輸送者の三組合が三角同盟を組織し勞働時間短縮、賃銀增給の……をなす旨を聲明して……決議を爲し[礦]主側に迫る所があ……偏王側を威嚇した鐵道……七月十五日を以て一般的同……若し其一般的同盟罷業の行はるゝ……に於ては由々敷一大事であるに一應その議を纏めて幸に同……といふので政府は其居中調停を……罷業なきを得たのである而し……し賃銀も相當條件に依り增すこ……たので……夫の勞働者……を減ずるこ共に[賃]銀により生產……一瞬僅か六……其他石炭を多量に消費する工……一種の大……するもの……一方には戰爭よ……政府の危機漸く迫らんこす……

京城日報

物價暴騰(下)

政府の方針に就て

政府が聲明する六億の公債募集は、豫算上必然斷行せざるべからざるものにして、特に通貨を縮小するの政策にあらざることは、こゝにいふまでもなき次第にして、高橋藏相が正交俱樂部員の質問に對する答辯に徵するも、政府は此際殊更に通貨縮小の政策を執るを避くるものの如し。然れども藏相も亦明言せる通り、政府は今年一月以來所謂不言實行の政策を以て、凡そ七億圓の資金を民間より吸收せりこいへば、まんざら通貨政策を等閑に附し居らざるを知るべし。而も藏相は信用通貨こ現金通貨この割合を擧げ、現金通貨を縮小するも、毫も物價を低落せしむるに足らざるを說き、且つ世論の要求する中央銀行利率引上の如きも、亦物價に影響するとなしこいひ、強て通貨政策を否定せんこするが如きの口吻あるは、吾人をして徒に其意の在る所を揣摩するに苦ましむ。勿論吾人こ雖も、政府の力を以て小切手、爲替等の信用取引を制限し得べしこするものにあらず。又日本銀行を強要して極端なる利率の引上を爲さしめんこ求むるにあらず。要は從來の無方針政策に代ふるに、通貨政策を一定の方針の下に置き投機的事業の勃興こ、一部當業の利益壟斷こを抑制し、我經濟界をして「健全なる發達を爲さしめんこ欲するに在るのみ。吾人は此點に於いて大藏農商務兩省の間に意見の矛盾するものあるを悲しむ。即ち山本農相の言を按ずるに農商務の方針こしては、米及物貨の供給を潤澤にするを以て唯一の責務こし、通貨縮小等の問題は之を大藏省に求めざるべからずこいひ、暗に通貨政策の變更を望み、且つ政府の聲明(前掲物價騰貴)にも、通貨收縮の効果を認め居るにも拘らず、獨り高橋藏相のみ、依然こして通貨に關する從來の放漫政策を變更せざらんこするは、是れ實に政府に於ける確定政策なきを暴露するものにあらずや。第三生產者こ消費者この中間に在る米穀を、成るべく速かに市場に放出せしむるここは、頗に必要なり。之れがために鐵道の輸送方法を改善し、又は海運の船腹を供給する等、種々の緊要手段を講ぜらるべきここ勿論なり。然しながら未だ生產者の手を離れざる多數の貯藏米を、市場に放出せしむるここ更に急要にあらざるなきか。さりながら之がために強制徵收等の手段に訴ふるは、極めて穩當にあらず、所謂銀行貸出の利率を高め、無理なき手放しを爲さしめざるべからず。此點に就ても亦中央銀行利率の引上を實行するを可こす。

之を要するに物價の暴騰は眞に世界的の現象なりこ雖も、各國政府の之に處するの方策は、第一に中央銀行利率の引上、第二公債發行、第三海外放資、第四暴利取締、第五食料管理、第六特種の物に限れる輸出禁止等既ね其の政策の揆を一にす。獨り我邦に於てのみ未だ徹底せる政策の實現を見ざるは、吾人の頗る遺憾こする所にして、其の結果の頗る憂ふべきものあるを慮れざる能はず。政府既に上述の如き方針を發表する以上は、更に百尺竿頭一歩を進むるの活手段あらんここを希望せざるを得ず。此の問題たるや直接に國民の衣食生活に關するものにして彼の官制改革なごこ同日に論ずべきものにあらざるなり。

戰後の貨幣制度(三)

法學博士　山崎覺次郎氏談

併し英國の如く三十幾億の紙幣を處分せんこするには容易ならぬものがあり既に是に對する處分委員會の設置を見たもの・猶當分の間は是等の紙幣の流通を默認するの外はあるまい佛國に於ては普佛戰爭後の貨幣整理に七八年の歲月を要してゐる經驗に鑑みて以前に數倍してゐる今日の紙幣を整理するここは却つて不利益こなるであらう寧ろ此の儘にして自然に整理した方が得策であるこいふ樣な說もあるらしい伊國等も實に困難を感じてゐるが獨逸の如きは猶一層の事であるが殊に墺太利に至つては困難の極であらう茲に於いて最も悲觀するものは露國紙幣であつて或ひは反古こなるものが決して尠くはあるまいこ思ふそこで此の世界の大混亂に際しては一時的でも紙幣こ金貨この相場を定め而して取引を行ふ事が最も當を得た策こ思ふ而も聯合國に於て金貨を流通せしむる事の無益なるを感じた各國は齊しく中央政府に於て金貨集中策を講じ一方金の輸出を嚴禁してゐる是等の現象は縱し這回の戰亂はなくこも早晚行はるべきものであつたかも知れぬ併し此の戰亂の結果は各國金の所有額に大變動を齎してゐる即ち交戰諸國の金は減少して悉く中立國のものに歸してゐるが特に眞の成金こもいふべきは米國であらう即ち戰前に於ける十八億弗の金は昨年の六月下旬迄に卅億弗こいふ大激增を見所謂全世界に於ける三分の一を占むるに至つた其次に位すべきは日本である米國に對しては未だ其の比ではないが尠くこも大正三年末に於ける三億四千萬の金は實に數倍して現下に於ては十六億こいふ激增を示してゐる此の兩國の將來に就て思惟するに米國に於ては假令金の輸出を行ふこしてもさまで減少する事はないであらう即ち輸出の超過に伴なつて從來の債務國は地位を轉じて債權國こなつてゐる爲めに金利や何かの關係は益々金の增加を示すであらう而して日本は如何にこ見れば甚しき輸入超過の繼續がない限りは多大なる減少を見るに至らないかこ思はれる夫から是れ迄には在外正貨の制度は我が國でも喧傳せられてゐた如く佛國及び南米等の諸國に於ても此の制度を採るに至つた是等も確かに大變動こいふべきものであつて即ち戰後に於ける貨幣制度は著しき爲替相場の變動こ共に全く其安定を打破せられたるものであるここで是れが調節策こして種々なる手段が講ぜられつゝあるが今後に於ける英國は果して從前の如く世界的金融の中心こして保持し得るであらうか今や米國に對して債務國こなり他國に對しての貸金能力の薄弱は從來の位置を保持する上に於いて多大なる困難を感ぜずにはゐられないであらう是れに反して米國の状況は實に旺盛で戰前に於ける倫敦を遙に凌ぐの状態にあるナポレオン以前の國際的金融中心たり和蘭を倒したる英國は總て今回の戰亂に依つて其の權威を米國に奪取せられんこしてゐる既に茲に至れば英米兩國の程度問題が存する許りであつて或は國際的貨幣曾議の實現を見るに至るかもしれない(完)(東京局)

錬膽錄

三笑生

周敦頤

◇周敦頤、字は茂叔、濂溪先生こ號し、太極圖說を作り、宋學の源を開いた鴻儒であつた。

◇支那哲學は、宋學に至つて大成されたこ謂つても可い位であるが、宋學には著しく佛敎哲學こ類似否一致點がある。其れも其の筈で、周子は熱心な參禪者であつたのだ。

◇周子は、始め晦堂心禪師に見ゆて、敎外別傳の旨を問うた。するこ心禪師は『只汝が自家屋裡に向つて犒しく點檢するがよい、孔子は朝に道を聞いて、夕に死すこも可なりこ云つたが、畢竟道こは何であるか、顔回は其の樂む所を改めずこある、其の樂む所は何の事か、只だ此に於て久々にして自然に契合する處あれ』こ諭した。

◇周子は、日夕自家屋裏の點檢を怠らなかつた。其後廬山に遊んで、其幽勝を樂み、遂に居を築いて、其處に居ることになつた。時に佛印了元禪師が、程近い鸞溪に寓居してゐることを知つたので、互ひに往來して、共に道を講ずるに至つた、

◇或る時、周子は禪師に向ひ『天の命之を性の謂ふ、性に率ふ之を道こ謂ふ、然るに禪門では、何故無心是れ道こ說くか』こ、禪師は『禪門の道に疑ひがあるならば、別に親しく參ずるがよい』こ答へた、それから更に問答數番『イヤ參じないこは言はぬ、何を以て道こすべきか』『滿目青山看るに一任す』こ云ふに至つて、周子は豁然こして省悟した。

◇其後、窓前に草の生ゐて居るのを見て『自家の意志こ一般』こ言つた、此の話は道學者の間に、やかましく言はれて、議論の種こなつたが、此の時周子が佛印禪師に呈示した一偈がある

昔本不迷今不悟。心融境會豁幽濟。草深牕外松當道。盡日令人看不厭。

◇窓前生ずる草、此れ自家の意志こ一般、滿目青山これ自家の意志こ一般、此の境地を得て始めて自己の心肝、宇宙の大靈こ冥合すべきである

婦人世界　夏季特別號　八月號

記者特派の特別記事
新しい村を訪ふ記
武者小路實篤君等白樺派の新しい文士こ婦人こが耕作もし創作もする日向國木城村の新理想境
其部落住宅生活振り寫眞入細敍
新しい村の女の人　川島傳吉
妻こ娘を伴ひて木曾御嶽に登るの記　村井弦齋
變つた旅の深い印象
ヒマラヤ山中の靈場……河口慧海
カムチャツカの曠野……中川八郎
スマトラ蕃地の猛獸……菅野力夫
避暑旅行地は何處
名士七十餘名
最も涼しいところは何處ですか
最も知られぬ絶景は何處ですか
最も風景の美しい處は何處ですか
時節柄婦人讀物
▽婦人の旅行に用意すべき物
▽宿屋の泊り方こ出し方
▽見ると涼しい夏の茶菓の結ひ振
▽汗をかいても崩れぬ化粧法
▽晝寢の仕方は是れ是れ
▽夏の飲物八種の作り方
▽米代用の經濟食物
▽今頃流行の子供の病氣こ注意
▽タオル一枚で寢冷を知らず

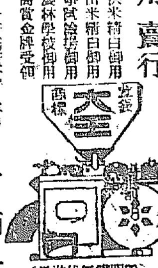
(長篇小說)靈鐘　小杉天涯
義枝の身こ枝……非常な波瀾と變化……　愛の力　長谷川時雨
麗人傳　描く
秋風怨　大橋青波
にごり江　樋口一葉
ハムレット　坪内逍遙
寺小屋　林和
令孃風聞錄(寫眞入)　下田歌子
女學校(山脇高女)先生判評

本號に限り郵稅一錢二厘半……東京市京橋區……婦人世界……

當商會等ハ今般營業ノ都合ニ依リ一切ノ權利義務ヲ株式會社東益社ニ讓渡候間此段及廣告候也
大正八年七月二十一日
京城府南米倉町七十四番地　參睦商會　金東健
京城府體智洞四番地　三金商會　金東元

當社ハ參睦商會及三金商會ヨリ一切ノ權利義務ヲ讓受ケ之ヲ負擔且ツ履行可致候ニ付此段及廣告候也
大正八年七月二十一日
京城府北米倉町一三七番地　株式會社　東益社

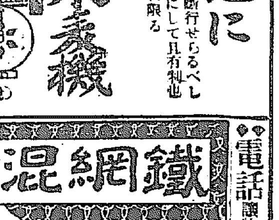
專賣特許　レスピラチン　粉末　錠劑
卓絶ナル呼吸器病新藥
本新藥は坪井、緒方、佐多三醫學博士和中醫學士等の實驗證明せられたる最新藥にして肺結核、格魯布性肺炎、加答兒性肺炎、慢性氣管支炎、急性氣管支炎、流行性感冒、喘息、百日咳等に奏効顯著なる新藥なり
錠劑　五百錠　金六圓　百錠　金一圓五十錢　五十錠　金八十錢
粉末　百瓦　金六圓二十錢　五十瓦　金三圓二十錢　二十五瓦　金一圓四十錢　十瓦　金八十錢
特約店　大阪　武田長兵衞　中村合資會社　小野市兵衞　東京　乾共同　三共株式會社
大阪市東區島町二丁目　合資會社　大阪化學研究所　電話長東三六〇七　振替大阪六〇九八　東京一六八六五



米は最近に
雲上御嘉納　暑中御遊の御嘉納
專賣特許　自働扇風機裝置　ナショナル精米機
無砂搗きと、斤量減りを斷行せらるべし　今本機を備付けなば安全にして且有利也　精米は自働扇風機裝置に限る
(說明書無代進呈)
成績、信用、賣行　斯界第一
明治神宮御供米精白御用　御即位式獻田米精白御用　農商務省農事試驗場御用　東京府立農林學校御用　各博覽會最高賞金牌受領
發賣元　東京淺草區福井町二〇　精工商店　電話下谷二七一七番　振替東京二六六八番
特約販賣店　朝鮮釜山港琴平町八ノ二　弘中商會　電話九三九番

水泳術
入會せる者に水泳の極意を……
錦習自習最新式通信教授
振替東京一二六二九　東京本郷西竹……水泳研究會

一六朝鮮煙草株式會社……株式……公告
京城地方法院執達吏……
大正八年七月二十一日



鐵網混凝土
耐火耐震の家が出來る
早く安く　川崎の網を張り混凝土を塗れ
(說明書進呈)
東京芝區田町驛前　川崎工場
電話……本町一丁目　本店

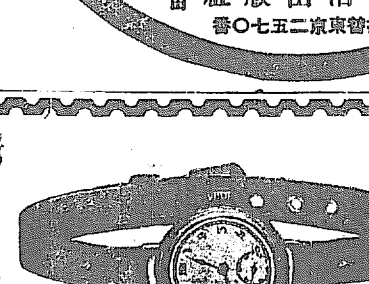
農林產業株式募集　本日締切
朝鮮、臺灣、樺太、北海道の申込締切は七日間延長す
本月十七日官報並十一日本紙廣告參照)

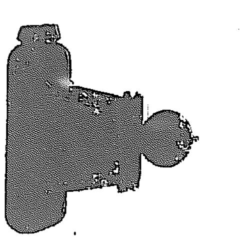
肅啓愈々御清祥奉賀候陳者私儀今回亡父の名義を繼承松太郎に改名致專心家業に從事仕候間何卒先代同樣御引立を賜度此段襲名御披露旁々奉懇願候　敬白
大正八年七月十五日
京城岡崎町(三幸洋行)
政十郎改　山名松太郎

賜　十四宮殿下　平素御愛讀
國課外讀本
小學兒童の暑中休暇中に缺くべからざる小學全科統合の
本書は國定敎科書と併用すべき特種の課外讀本です
定價　尋常一、二學年　各冊三十錢　尋常三、四學年　各冊三十五錢　尋常五、六學年　各冊三十八錢
全國各地書店にて販賣す。品切の時は直接本社へ御注文を乞ふ
東京神田　明治出版社　振替東京二五七〇番

專賣特許第二七七六八號
速冷器

◉理想的速冷器現はる
如何にせば簡便に冷きビールを飲み得るか
曰く專賣特許速冷器あるのみ
正價壹個金五圓八十錢
◇本器の特長並に構造
一本器は冷藏庫の如き長時間を要せず僅に二三分間に冷却す故に必要に應じ僅に百瓦の氷にてビール其他サイダー、コーヒ、牛乳、茶湯、酒類、煮出汁、水菓等速座に冷却す
一本器は金屬製にて外觀優美高尚且堅牢にして永久品なり
◉各地に特約販賣店を募集す委細書面照會あれ
製造發賣元　京都市黑門通中立賣南入　明立社　振替大阪三〇六五七
朝鮮一手販賣元　大邱府館町壹丁目　明立社出張所　電話五四番





各種寫眞機
材料品一式
各種時計
貴金屬製品
寶石類一式
各種自轉車及附屬品一式
日曜日ハ休業仕候
京城本町　株式會社　大澤商會京城支店
振替京城二三一　電話京城四八〇　部長電話三九　時計部電話二六二番

醫學得業士若林哲郎氏創製
腸内強力殺菌新藥　ワカ末
徹菌に因る疾患就中急性及慢性腸加答兒、腸胃性腐敗、大腸菌性腸炎、赤痢、腸チブス及パラチブスの初期。
大腸菌性膀胱加答兒、其他大腸菌に因る諸病に特効あり斯界大家の唱道するところなり。文獻御申越次第進呈す
定價　末劑壹瓦入金廿錢　同半瓦入金十錢　錠劑五十入金一圓二十錢　同五十入金八十錢
各地藥舖にあり
振替東京七八五〇
東京市麻布區笄町　南信堂藥局

遣露軍行動開始

沿海州方面の過激派鎮壓の爲

陸軍省公表＝浦鹽派遣軍司令官は南部沿海州方面一般の情勢に鑑み過激派の妄動を鎮壓して地方民心の鎮靜を圖るの必要を感じ第五師團先遣部隊の來着を期し七月九日を以て軍の行動を開始せしめたり（東京特電）

過激派最近狀況

＝烏拉爾方面は益々優勢

最近過激派狀況に就き其筋の發表する處次の如し（東京特電）

（一）キンカム、ビラ兩驛間北方森林內には三百餘の過激派軍根據を占め時々附近に出沒掠奪破壞を爲す

（二）十四日武裝せる過激派軍約一百ベチャンカの郵便局を襲ひ金品を掠奪す

（三）ソゼウ方面の討伐隊は十七日モハチャノフカ及びマナキーの附近に集合せる約一千の過激派軍を掃蕩し之を驅逐せり

（四）烏拉爾戰線に於ける西伯利軍戰況不利にして退却の止む無きに至り之れに對する過激派軍益優勢となり該地附近の不安定を來し人心は影響せること尠からず現に後貝加爾州東北部に出動中なりし哥薩克騎隊の一部にも過激派色彩の動搖發生したるもの、如しといふ

園侯の辭去挨拶

日佛兩國親善の必要を力說

西園寺侯は佛國出發に先だち佛國の侯に與へたる待遇の懇切なるを感謝し又佛國民の精力、剛勇、克己等に對し賞讃の辭を述べたり尙ほ侯は述べて曰く『佛日兩國は親善關係を助長する事に努め斯くして將來の世界平和の爲め新たなる守護團を形成せざる可らず』と（巴里電報）

園侯馬耳塞到着

西園寺侯は歸朝の途十八日馬耳塞に到着せり（東京電報）

獨社會黨凋落か

一般人民舊帝政時代を熱望す

獨逸の政局は愈々右黨及び正教派の主義に接近しつゝあり社會黨は明白に其弱點を暴露し來りたるが人民は一般に社會主義者の爲す無きに失望し舊帝政時代の秩序を熱望しつゝありされば保守的傾向著しく現はれ是等諸黨派の擡頭と共に青年貴族黨の勢力恢復全きに至るべしと（倫敦電報）

米上院聯盟討議

米國上院は國際聯盟につき討議したりアンドヴイツト氏は國際聯盟を以て戰爭を防止するの傾向あるものなりといひロッチ、ノーリス兩氏の反對は理由なきものとして攻擊せりロッチは山東問題の解決を以て日本の好意は條約調印に對して支拂ひたる代償なりといひヒッチクック氏は之れに對して反對意見を述べたり（華盛頓電報）

外洋運賃管理廢止

米國船舶局は外洋運賃の管理を廢止したり（華盛頓電報）

米國麥管理會發布

紐育發＝米國大統領令を以て麥管理令發布され麥の貯藏販賣は特許を要するに決せり（東京特電）

寬城子事件顛末

陸軍省より公表さる

孟張兩督軍の間に確執を生じ形勢惡化の兆ありし以來吉林兵は續々長春附近に集注し其の數一萬に達したりと稱せらる然るに之等支那兵中往々不穩の行動に出づる者あり爲に附近一帶の民心恟々として安んぜず

日々緊張の度 を加へ今後若し吉林奉天兩軍にして終に干戈相見ゆるが如き事あらんか多數外人の受くる危害は少からざるのみならず外交上至難の問題を惹起する虞あるを以て立花關東司令官は獨立守備隊に對し訓電を與へ兩軍に對して嚴正中立の態度を取ると共に鐵道及び附屬地の秩序維持に勗め苟くも手違ひなからん事を以てせり然るに去る十九日僞謀な（る）支那兵の暴行に端を開き終に日支兵の衝突を見るに至れり本事件の原因及び經過に關し二十一日朝迄に得たる狀況左の如し

事件の發端は 七月十九日午後零時半頃滿鐵內の船津藤太郎が寬城子附近の狹き橋梁を通行せる際支那人四五名向ふ側より渡り來りしにつき船津は彼等の渡り了るを待つて通過せるに彼等は船津に振り向きて侮辱的言辭を加へたるを以て船津は又之に應答せるに支那兵等は無謀にも直ちにピストルを以て船津を亂射せり恰も此の時馬車を驅つて同所を通過せる彼邊賀次外二名之を傍觀せるを以て直ちに現場に至り船津の負傷容易ならざるに驚き急を寬城子守備隊に告げたるに此の急報に接したる守備隊副官住田中尉は

將校以下十名 を率ゐ吉林の護衛部隊第一營に至り嚴談したるに同營長は其の部下の者にあらず第二營の者なりと答へたるを以て住田中尉は第二營長に會見を求めたるに之亦不在と稱し終に要領を得ず中尉は尙ほも交涉を進めつゝありしに支那兵は衝突街路より住田中尉を亂射し住田中尉は忽ち頭部に重傷を受け其の場に斃れ外に又數名の死傷者を出だせり茲に於て寬城子に在りし我が將卒は自衞上直ちに起ちて應戰し敵を距ること二十米突の地に在りて戰鬪を交換せり右の報に接せし我が寬城子守備隊長は直ちに第一中隊（十四名）に出動せしめ十九日午後一時恰も寬城子東方約一千米突の地にて攻擊し

支那兵に應戰 し攻擊を開始せしと共に守備隊の殘部を兵營外に展開せしめたり次いで寬城子附近にありし支那兵の數は約千五百人にして彼我衝突の懸隔甚だしくなり此の時長春城內より第一營に派遣されし高旅長現場に至り漸く彼我の戰鬪は中止を見るに至れり（東京電報）

警備方法協議

支那兵三十支里以外に撤退

高山司令官の有志意見聽取

獨立守備隊司令官高山公通中將は廿日夜八時長春銀行樓上に諮問委員、區長其他民間有志者を集め今回の事變に就き警備問題其他に就き意見を聽取したるが市民の意見としては現在の一箇大隊にては到底安堵出來難きを以て猶一箇大隊增派され度き旨を要求したるも司令官は萬一の際は電報一本にて何時にても大隊以上の必要に應じ出動準備を整ふべく且つ城內及び附近支那兵に對し附屬地より三十支里以外に撤退せしむる事に廿日決定せしを以て今週に增派の必要を認めずとて採用に至らざりしが出動部隊の來著迄には約十時間を要する上撤退に快よからざる兵卒が中場に際し何時如何なる暴動を爲すやも測られざるより右警備に就き廿一日午後一時より劇場長春座にて市民大會を開き委員を選定して當局に交涉すると共に寬城子事件の輿論を喚起すべく努めたり（長春特電）

又も日支人衝突

邦人二名重傷＝山東即墨にて

青島某所に達したる情報によれば即墨城を距る二十八清里の一部落に於て日本人五名と支那人との間に爭鬪を起し支那巡警は支那側に加擔し雙方入亂れて大格鬪となり邦人二名は遂に重傷を受たれば他の三名は辛うじて現場より逃走せり（青島電報）

小幡公使の詰責

小幡駐支公使は陳外交次長を訪問し寬城子事件に關し支那軍隊の無法なるを詰問する處ありたり（北京電報）

吉林軍長春撤退

日支兩軍司令官協定の結果

二十日夜高山司令官は長春にて高峻峰旅長と會見の結果再び日支兵の衝突を避くる爲め吉林軍は長春城より三十支里以外の地に撤退す可く決定し二十一日朝より吉林兵は隊伍を組み著々撤退を開始しつゝありとの報あり尙近同方面視察歸奉者の談に據れば吉林軍の士氣非常に高潮しつゝあれば今後奉天軍との衝突は免れ難かる可きかと觀測さる而して十九日日支兵衝突の際高旅長が自動車を驅り現場に急行せんとせしに吉林軍中高旅長を狙擊せる者さへありたるが如き或は張督軍の間諜隊中にあるやも保し難ければ吉林軍にても相當之に對し準備の上ならでは奉軍に對し戰端開かれざる可し附近長春鮮屯兵は四十七營（一萬四百八十名）＝總計二萬二千五百六十名と寬城其他に蟠踞せし兵士五千餘名なるが尙續々來り投ずる者ある可く軍資も亦目下豐富なるが如しと（奉天特電）

寬城子事件交涉

二十日朝哈爾賓より第五十三聯隊長大佐等々力森藏氏寬城子來著林大隊長より諸般の報告を受け支那側に對する當面の交涉に當るべしと（長春特電）

金李兩子爵失爵

朝鮮貴族令十六條により

金允植、李容稙兩子は朝鮮貴族令第十六條に依り大正八年七月十七日其の爵位を失ひたる旨同二十二日發表ありたり（東京特電）

農商務對吏員節米訓令

農商務省は管下吏員に對し節米の訓令を發せり（東京特電）

關東軍司令部

徹宵事務に忙殺

關東軍司令部には長春事件突發と同時に各般の情報頻々到來しつゝあるを以て立花軍司令官、濱面參謀長は幕僚等と共に事變に策應すべく徹宵多忙を極め居れり（大連特電）

濱面少將急行

關東軍參謀長濱面少將は廿一日午後旅順發長春に急行す（大連特電）

南滿製糖總會

南滿製糖會社は二十二日午後一時より東京保險協會にて定時總會を開き前期同樣年一割の配當据置きを可決したり（東京特電）

土用二郎天候

內地各地に於ける土用二郎天候左の如し（下關電報）

▽晴　沖繩、鹿兒島、宮崎、汐見崎、岡山、長崎、濱田、堺、濱松、東京、銚子、福井、相川

▽曇　高知、大阪、小笠原、前橋、石川島、函館、札幌、根室

慶南普校長會議

十三日より慶南普通學校長會議開催され道長官田中視學臨席の筈（馬山特電）

高山司令官動靜

廿日奉天通過安東に向ふ筈なりし高山司令官は長春事件突發の爲め出張見合せとなりたり（奉天特電）

福井縣會議員團

福井縣々會議員視察團一行は廿日來奉一泊廿一日撫順視察に向へり（奉天特電）

支那に於ける朝鮮の水產物

評判の良い開鱈と惡い海參

（下）

總督府水產技師　大木盛三郎氏談

今回の視察に於て最も愉快に感じたるは朝鮮東海岸各地製の開き鱈の評判よきとにて支那商人は口を揃へて朝鮮產は北海道產よりも樺太製よりも乾燥良好にして肉分厚く前も

價格安値 なりとて稱讚し居れり朝鮮產は開き方相違せるを以て支那人と雖も一目朝鮮產たるを知り得るの利益あり本品は上海と香港を中心とした地方に於いて益々販路擴張されつゝあり無限に朝鮮產の供給を受くるを得れば他よりの供給を拒絕すべしなど云ひ居れり以て如何に彼等の嗜好に投じたるや知るべし、之と反對に惡き點に於て評判あるは海參なり海參は朝鮮よりの輸入水物中の大宗なるも乾製するに當りて脫腸器を用ひず小刀にて切り開くを以て後尾に切り傷を生じ其の恰好甚だ宜しからず一見他地方產に比し

見劣りを 感ずるを免れず市價も亦他地方產に比し幾分低下を免れざるは甚だ馬鹿らしきことゝ云ふべし今後は小刀切開を廢して脫腸器使用を獎勵し以て製品の改良と品格の昇進に努めざるべからず、上海港は水產物總輸入額の四割五分を占め居れるが輸入品中鯣鰒最も多量にして十八萬五千ピクル（一ピクルは日本の十六貫）價格二百萬圓に達す次は北海道長切昆布にて三十六萬九千ピクル價格二萬圓に達す其の次はスルメ、干蝦、參の順序なるが輸入品中三分の一は同地にて

消費され 三分の二は更に奧地に移出され居れり同地に於ける生魚集散の狀況を見るに本來支那人は石首魚、太刀魚の二種を最も愛好せるが石首魚は年々舟山島列島の漁場より三十萬ピクル黃海の漁場より四十萬ピクル合計七十萬ピクルの輸移入を見居れるが舟山島漁期は三四月、黃海は五六七月頃なれば鮮魚より生魚を上海に輸送せむとせば先づ此の漁獲時期に注意するを要すべし、太刀魚は約三十萬ピクルの漁獲あり彼地方の漁期は一二月頃なるも朝鮮の漁期は其の以前なるが故に朝鮮よりも大いに輸出し得るの餘地あるべく現に僅少ながら

輸入を見 つゝあり香港の輸入額も亦總輸入額の四割五分を占め居れるが最も多量なるはスルメにて百八十萬圓の輸入あり（イリコは悉く內地產と稱し）の鯣、鰒鰭、アメリカ鮑、鮑の鱶鰭、海參、貝柱、干鮑、煎子等是れも多量は朝鮮產混在し居れるも"ニュージーランド"の海參は主なるものにして其他西部の鯣の鰭、南洋の鱶、鹽物、コンブ等は其次に於て新嘉坡方面の魚肚、巴旦、九龍、廣東、梧州、南寧、四川省方面に移出されつゝあり、就中多量に輸入ある海參は日本品は百八十圓乃至

二百圓位 の市價を保ち居れる爲め餘裕の上流の家庭にあらざれば使用し難きを以て多くニュージーランドの安物を用ゐ居れり香港と上海とは共に總輸入額の四割五分宛を占め居れるを以て兩地を除けば他は微々たるものにして茲に詳說を要せざるべし

アルメニヤ人の大虐殺

六月四日カラバグ地方にて韃靼人によりアルメニヤ人の大虐殺行はれたるが右報道に據れば同地知事の命により虐殺の後放火、掠奪、凌辱等の暴狀を盡し死者總數六百を超ゆと（倫敦電報）

期米四十二圓臺

大阪の爆發に仁川も沸騰

內地米界は政府の外米政策發表も無類の好順も殆んど軟材料とならず月末の切迫に伴ない不割りを買し軟派の敗れ退きあり世界的の食料不足は外米產地相場を狂騰せしめたるより安場と目されし大阪當局も二十二日前場止めに於て三十八圓二十九錢と爆騰せしより先日來氣丈を緩めし仁川期米の同日後場に至つて買氣旺盛更に釜山正米の高報を齎すあり寄附きは四十二圓零五錢高値二十錢安値も二圓臺を下らず非常の頑強味を示せり目先內地相場次第なるも正米の留勢より見るも大崩落は期し難からん唯他が値だけに此上野方圖もなき騰貴は見られざるべき乎期米へ強調は正米の値頃を強からしめつゝあり

郵貯千五百萬

朝鮮郵便貯金は十七日一千五百萬圓臺に到達したるが一般俸給生活者の生活難の聲は高きも一方今後に於ける物價その他の變動を見越し準備的に幾分にても貯金をなさんとする向ありその他農民の資力增進等にて尙增加すべき模樣なりと

漢銀株主總會

漢城銀行第二十八期株主總會は二十二日同行樓上に於て開會し（前）期決算報告を爲すと共に利益金分配案を可決せるが今期其の決算成績を聞くに六月末日總預金九百七萬餘圓にして前期に比し二割五分の增加を示し總貸金九百七十五萬餘圓は三割六分の增加なり總益金六十六萬餘圓總損金五十五萬餘圓にして純益金十一萬餘圓を得たるを以て配當は前期同樣年八分の割合となせる因に同行鐘路出張所は今般東大門支店に改稱し西大門派出所は西大門出張所に平壤大和町派出所は同出張所に孰れも陞格改稱す可く附帶決議ありたり

鮮米廻著多し

本年の澗鮮は無類の好順氣なるため略米作の前途も見透しつきたると唯今の米價は鮮農の期待せる四十圓臺に吹上げたるため地方米筋の買出し漸次多く各開港場に對する廻米相次居り今後鮮米の移出は尙相當に多かるべき見込みなりと

最近鑛業趨勢

最近朝鮮鑛業界の趨勢は依然不振の狀態に在り就中重石、黑鉛等は其復活前途遼遠にして豫想すること難く其他の諸鑛物も其數に漏れざるが唯石炭のみは業界の將來と近時石炭問題の擡頭しき等より著しく擡頭し來れる觀あり六月中に於ける鑛業出願件數七十六件中三十四件の金銀銅鐵を除ける四十二件は實に石炭鑛なりと

朝日釀造前途

資本金百五十萬圓を以て本社を京城に置き釀造所を仁川に設けんとする朝日釀造株式會社は目下出願中にて許可あり次第直ちに創立の手續きを終り四分の一の拂込みを徵すべきが株式は發起人並に內地の有力贊成者の分二萬七千株の引受け確定し居りその他の贊成株申込相踵ぎたるため發起人も割當に困じつゝあり尙ほ會社の酒造は既報の如く仁川某酒造場を買收するにつき當初より相當の基礎を有し居れりと見得べく殊に一般好景氣にて酒類の賣行き旺盛の際なれば會社の業績も擧るべしと觀測されつゝあり

舊練兵場埋立

京城府廳所有に屬する龍山舊練兵場埋立工事は目下府廳に於て調査中なるが近く著手し本年末を以て全部竣功の豫定なるが機を見るに敏なる資本家並に投機業者は同所の將來市街宅地として有望なるに著目し此頃頻りに拂下を希望し中には一手に全部買收を申出づる者ある由なるが同所の全面積は一萬八千坪にして之れを市街地とせんには各所に相當の通路を設くる必要あり之れに要する坪數は約五千坪にして宅地としては一萬三千坪位ならんと府は之れを一人に拂下ぐる樣のことなく實際の使用者に一部分宛拂下ぐる方針なりと

鮮銀國債受附

十九日より賣り出しを開始せる五分利付國庫債券の鮮銀本店受け付額を聞くに十九日は七口三千百圓二十一日八口一千五百圓合計四千六百圓にして今明二日中にも尙多少の申込みあるべきも其の總額に至りては從來の例に徵するも格別多額に上らざるべき見込みなりと

サモワル會開講式

朝鮮サモワル會に於て二十一日午後八時より同會の附屬事業たる露語講習會の開會式あり大村幹事長の開會の辭、會長金谷府尹の挨拶あり九時十分閉會したるが同會にては今後月水金を講習日と定め露語の講習を爲すべしと

李完用伯出府

二十二日午前九時より總督府に開會さる國勢調査委員會には李完用伯も委員として出席し陶山通譯官の通譯に依り意見を開陳さる由

福田中將退鮮

參謀次長福田雅太郎中將は廿二日朝釜山著直ちに東萊溫泉に赴き同夜新羅丸にて歸東す（釜山特電）

鳥瞰錄

▲豫言や迷信はナーニ彼れは豫言だナニ其は迷信だと頭から馬鹿にしてかゝるが西洋邊では役者が馬鹿に巾を利かせて居るから可笑い▲獨逸は片腕の皇帝が君臨する時破滅するとは百年以前から傳へた豫言で獨人は氣にして居た▲處が前獨帝は左手が殆ど利かず役に立たずマア片腕同樣だと云ふから面白い▲豫言的中だと大分感心して居る連中も多い相な▲露國懸山二世は波蘭の分割を露國が主唱で行つたのを深く氣にして▲必ず恐ろしい報いが露國とロマノフ家に來るに違ひないと云つて居たが果して今日の露國は彼の通りとは豫言信者の感心振り▲巴里から新歸朝者が大隈侯を訪問して講和會議中のウヰルソン君の不遜を憤つて▲如何に大統領でも怪しからん國際聯盟會議の日に新聞記者等でさへ窓の外から覗いて居るのに彼は夫人を議場に入れて居たのは餘りだ▲と憤慨すると隈侯の答へが面白い▲彼れはウヰルソン君が一代の智慧を絞つて獲得した貴重品であるんである先生一代の得意な處を最愛の妻君に見せたい人情は西も東も同じであるんであると頗る粹に碎けた上▲君も其妻君を見たかと聞く每度見ましたと客が答へると何うだ別嬪かいと更に奇問▲イ、エそんな美人では有ませぬと答へるとそんならいゝんであるんであるは笑はせる

最近印度事情

豊作の見込

であるが印度の如き熱帶にて一時は否らぬものと見當がつくと・士民の信仰する祭神の例祭の[illegible]なきも相當多かるべく豫想され武力の認むべきものがないので[illegible]

は一層擴張なるものがあつて雨と共に印度は農產國で其全體の時期は物品の最も實行の好良な[illegible]農民も商人もホク/\である　固より憂慮[illegible]

印度の暴亂[illegible]

東京現株（至急電報）▲印騰貴　△印下落　[illegible]

大阪株式（至急電報）二十二日後場大引　銘柄　前日比較

鐘紡　三八七、九〇　[illegible]

同新　三六六、九〇　[illegible]

東紡　二六四、九〇　一、〇〇〇　[illegible]

高値　三八〇、四〇　安値　三八〇、〇〇　[illegible]

▽正米變らず

神戸期米特電　二十二日後場　[illegible]

下關期米特電　二十二日後場　[illegible]

中學世界　八月號

教師に接近する生徒と生徒せぬ生徒……
◇山光水色　文學博士三宅雪嶺
◇學籍なき青年へ……鷺鼻五郎
▽若學生の歩める道
◇化學の龜高德平博士
◇各國學生氣質（何國の學生が……）
青柳篤恒氏（大正新（立志傳）……の給仕から大學教授までなつた……）
特別記事
名山八趣
水に親しむ人
日本山盡し
▽興味ある點滴の研究……本隊旅行……
今年は妙義へ
▽和歌……石拇千亦……新井……
▽お醫者さんの卵（千葉醫學生）
◇改造されたる向國生活
◇繪畫懸賞大募集
▽栃木人と廢品人との對話
▽旅館樓上の彫風……
小說　棘ある杖
小說　草間と山田
受驗欄　▽關西受驗ある記　▽各高校志望者數增減

東京本町　博文館　振替東京二四〇

女學世界　八月號

口繪　▽伊豆の海　▽夏の外光　▽習字手本
英國婦人界一瞥……大竹教授
◇秋の夜の月（源氏物語）……水野葉舟
◇花
……日向の新らしい村よりの通信……武者小路實篤
きやうだい
◇女と其周圍……石丸梧平
◇米國へ行く船……葉山しげる
若い女の惱み……中村孤月
▽矛盾子が歌……窪田空穗
▽海邊雜感……小野政方
世の中を知らぬ若い……
女學生の結婚觀　最も興味ある新問題
夕陽丘高女教諭　三浦圭三
▽兩國の川開の話　▽八月の漫畫……
▽六十行小說　▽美容問答　▽お菓子……
黑髮の主……平井晚村
◇近眼の女の繰言……半田花子
◇繪の西伯利亞……池上京子
世間を眺めて……渡邊たみ子
◇糖尿病者と家族……都築甚之助
◇西歐文學研究者に……瑠璃子
長篇小說　紅芙蓉……森田草平
繪物語小說　海の嘆き……細谷秀作　うさむ畫

▲良菜大根種子　販賣
美味　豐產
宮重大根
巨大聖護院蕪根
開城白菜
優良山東白菜
送料當園持代金引換は送料費用諸み相互の不利益故御前金にて御注文を乞ふ
以上特に割引す
其他の蕪根及菜秋蒔種子價格表申越次第進呈
內外種苗果樹苗植木生產販賣問屋
埼玉縣北足立郡戶塚村
埼玉農園
振替東京一〇五五四番

行員募集
小學校卒業以上の學力ありて本行員たらんと希望の者は履歷書持參あれ
株式會社安東銀行

最新刊
書名　著者　定價　送料
社會主義論　河上肇譯　定價二圓五十錢　十八錢
現代色法論
明るみへ
我鬼
京日案內
大阪屋號　京城本町一丁目
電話　……振替京城……

帳場至急入用
希望の方は本人來談あれ
笑福旅館

乳母至急入用
身體强健にして乳の多き二十五歲以上卅歲迄の者
京城本町

店員募集

見習記者二名採用
京城通信社

恩給立替
西村商會

測量設計製圖
京城工務所

島崎病院

事務員採用

女中入用
大林淺吉

サフラン種球分讓
村谷吉藏商店

……大藏氏曰く……世界孰れの地と雖も降雨と農作に密接の關係のあることは勿論……兩月に雨量が多ければ……凶作なれば……鈍くなると云ふ譯から商人と……が雨量適順であるから充分豐作であつたが今回のは土民や商人……あり其他娘子軍と稱するものは……者のみで何等彼等に兵禍な……入つて居らぬのである……ばよつ北年は豐作であり又少きれを標準と行るが例は年しもの見込みである日本雜貨の注文……

京城の夏　張りもの

小學生體育問題

體操の時間を增せ

科外運動としての野球

泰川普通學校　一教員

現今小學校の體育發成機關として學校にて課し居るは、體操、遠足、運動會なるが現今の狀況を見るに、何れも形式的にして成績が餘り面白くない。體格の不同なる生徒に對し同一の體操を課する事等は、餘程考ふべきこと思ふが現今の體操に於て

第一に改良 すべき點は體操時間を多くする事だと思ふ。一週間に二三時間の體操のみにては、體操科の目的たる身體各部を均齊に發育せしむるに止まり、眞の目的たる全身の健康を增進し快活剛毅の精神を養成する迄には前途遼遠だと思ふ。然らば何時間位を課すべきやと言へば下級生には一週少くも六七時間上級生には十時間位課する必要があると思ふ。

一日一時間 以上是非課すべき必要がある。而して運動場も從來より完全に整理し金を惜まず體操器械を設備して生徒をして本科に對する興味を喚起せしむる事に努め、和服は體操を行ふに不便少からざるを以て、適當な運動服を制定して安價に生徒に別ち着用せしむる事も必要である。尙各學校に一名宛、體操の專科教師を置く事もよからう。次に生徒に

科外運動を 獎勵すべき事も頗る大切である。體操は放課後は全く顧みられない事になるから生徒が好んで自ら進んで行ふやうな體育養成に適した運動を選定の上獎勵する事が必要である。科外運動選定の必要條件として必要なことは生徒の興味を喚起するものたること、運動は戶外にて行ふものたること、生理及び心理的方面より見て

下肢を十分 使用する運動なる事、危險ならざる運動なる事等であるが此の必要條件に比較的近いものは、庭球と野球とであらうと思ふ。庭球は競技も簡單である爲か一般に普及して居るが野球は團體で行ひ競技も複雜して居るから中には如何なるものかを辨へず、從つて小學生には不適當な運動のやうに考へて居る人もあるが決して其麼事はない

缺點と美點 とを比較して美點の多いものを採るべきである。小學生には小學生に適した用具があり、球も小學生用の適當な軟球がある、或はゴム球でも結構である。

貨車十九輛河中に墜落す

九州線の椿事　乘員二名負傷

門司驛發貨物列車は二十一日午前五時頃長崎線肥前山口驛附近西獅川にて三十一輛の中十九輛脫線顚覆し水煙高く河中に墜落したるが其際制動手二名は重輕傷を負ひたり(下關特電)

壯途に就く

下關東京間のマラソン　金栗秋葉兩氏

下關東京間約七百哩に亘る遠距離マラソン競爭を企てたる金栗秋葉兩氏は廿二日朝早く其ランニング姿を下の關驛前ホワイトラインの上に現はし切々腕時計を眺め出發時間の刻々に迫るに連れて兩氏共滿身の血湧き肉躍るの慨あり斯くて午前六時一發の號砲を合圖に數百の群衆歡呼の裡にスタートを切り壯途に就けり廿二日は山口縣船木に一泊し翌廿三日より豫定の行程を踏む可し(下關特電)

暴行支那軍隊

廿は死者七名

暴行支那軍隊は吉林第三混成旅第二團千六百餘名にて同隊の死者七名負傷者は判明せず(長春特電)

殉職警官葬儀

事件一段落の後　廿日盛大に執行

殉職警察官永田清四郎氏の遺骸は廿日午前九時警務署員及び近親の者にて火葬に附したるが事件一段落の後更めて盛大なる葬儀を行ふ可しと尙同氏に對し警部補に陞任敍勳及び功勞章附與の沙汰ある可し(長春特電)

椎原中尉逝去

重傷にて滿鐵醫院に入院加療中なりし椎原中尉は廿日夜十二時終に逝去せり(長春特電)

戰死者の葬儀

廿日長春にて

廿日午後五時寬城子兵營附近に於て長春本願寺僧侶導師となり戰死者の葬儀執行の準備して火葬に附したり(長春特電)

我が將卒は斯くも勇敢に戰へり

敵は大部分馬賊上り　暴擧は豫定の行動　林大隊長泣いて語る

寬城子守備隊第五十三聯隊第一大隊長林鍪樹少佐は暗涙を飲みながら悲痛の語調を以て語つて曰く『馬賊に等しき彼等支那兵の爲め我忠良なる國家の干城三十五名の將卒が騙し討に遭ひたるは實に憤慨に堪へず殊に彼の陣地に近く負傷し苦吟せる我數名の下士卒が己が露營に引摺り歸り

銃劍を以て柘榴の如く 耳を取り鼻を殺ぎ眼を剔り拔き腹背及び四肢に銃劍を蜂の巢の如く突き立て腕は鮪の如く引裂かれ全く形狀を留めず其何人なるや知るを得ざりしも漸く認識票に依り始めて知るを得たる程其慘狀到底二目と見られず彼等の行爲は鬼畜と雖も敢てする能はず此中森井軍曹は最も甚しく正視に堪へず尙戰死者は悉く銃劍其他所持金品全部を掠奪さる此態を見て我將卒の激昂一方ならず我等は挺身此衙營を屠さざる可からずと敦圍しも稍々力說して鎭靜せしめしが何れも

泣いて彼等の暴虐を怒 りたり我死傷者の多かりしは彼が我の不意に出したため銃に裝塡散開する暇無く其儘伏したる爲め瞬く中に五十名の中三十五名迄死傷を出し殆ど全滅に等しき狀態となりしが敵は散開して

凹地に入り頭部を匿し唯銃口のみ露して 射擊せる爲め本隊の屋根に向つて多く命中し兩眼鏡にて仔細に視察するも彼の姿は終に見るを得ざりき茲に於て特に一言し度きは我兵の態度にして漸く昨冬十二月入隊せし者多きにも拘らず實に勇敢沈着にして

全身を現はし射擊を爲 す爲め障壁に倚る事を諭すも肯かず依然『折敷』或は『立射』の姿勢を以て應戰し或は彈丸雨下の中を平然として彈藥を運ぶ等其態度平素演習する際と何等異らず我部下ながら實に感に堪へたり元來彼我の校間には意志疏通し常に往來して隔意無く殊に其前日の如き彼れの營長來訪し住田副官と麥酒を拔きて交驩したる程なるが暴行兵士等は奧地にて過激派の勢力を驅逐せる上我威力を知らず殊に馬賊上りの者多きを以て甚だ驕慢なる態度を持しつゝありしが

此日も豫て言ひ合はせ ありたるもの如く住田副官が交涉に行きたる際彼等は露營の外に何氣無く佇立し足下の草中に銃を隱蔽し置き合圖と共に銃を執りてバラバラと散開し營長と交涉中なる副官の一行に向け銃彈を浴せ營長の制止も肯かざるより終に營長も逃げ失せ茲に約千六百名の敵勢に對し我は全部隊合して僅々

七十名に充たざる兵を 以て防戰するの已むなきに至りしものなり此事實明に由り必ず我輿論を喚起し嚴正なる國威維持の態度を執るに至る可きは勿論なると共に國民も亦此重大事件に對し冷かに看過するが如き無氣力なるものは一人も非ざることを信ず(長春特電)

故袁世凱氏の弟に　朝鮮ホテルの血塗騷

王士珍氏の秘書なる人　田榮爵氏頭を割らる　加害者は朴侯爵妾の弟

當時河南督軍代表者たりし袁乃寬氏に壞毀當金として貸與せる金二十萬圓を請求する爲め渡鮮の途中入城し朝鮮ホテルに滯在し居たる王士珍氏の秘書田榮爵氏は十九日午後八時頃同ホテルに滯在せる同ホテル十七號室に於て侯爵朴泳孝氏の愛妾某の弟某の爲め

サイダ瓶 を以て頭頂部に約三仙米深さ帽狀腱膜に達する打撲傷を負はされ人事不省となり打ち倒れ居たるをボーイが發見し應急手當を施すと共に附近の安東病院に急報せり安東病院長が現場に馳せ付けたる時は既に加害者は逃亡後にて一方田氏は

血管二條 を切斷せられたる事とて出血甚だしく四圍は一面血の海と化し見るも悽慘を極め居たるが傷所は案外に輕く同十時頃病院へ收容手術を行へ田氏は手術中『寺內伯』『朴泳孝侯』など、頻りに連呼し非常に昂奮し居たるが四圍の狀況より察するに兇行前田氏は加害者と何事か

論爭した 結果田氏は加害者の反感を買ひ遂に此結果を見たるもの、如しと尙ほ兇行者は某旅館に潛伏し居たる處を其筋に逮捕され目下取調中なるが田氏其後の經過は良好なりと

虎疫門司を襲ふ

郵船八幡丸の支那船客　眞正と決し直ちに死亡

廿一日門司入港の郵船八幡丸船客支那人一名は港務部檢疫の結果眞正虎列拉と決定せるが同人は間もなく死去せり之れが爲め同船は五日間の停船を命ぜられ門司上陸客は彥嶋消毒所に收容されたり(下關特電)

避暑地投票

第二回發表

釋王寺	廿五票
馬山	十票
水安堡	九票
元山	八票
海雲臺	八票
東萊	七票
溫陽	六票
公州	五票
光州	五票
木浦	四票
釜山	三票
儒城	二票
仁川	二票
金剛山	二票
平壤	二票
逍遙山	一票
九味浦	一票
夢金浦	一票
密陽	一票
松島	一票
冠岳山	一票
南原	一票
淸津	一票
全州	一票
扶餘	一票

公文書を口語體に

繁文縟禮を避ける爲め

文部省では昨今牧野秘書官が主唱となつて言文一致を公文書に應用する計畫を樹て既に地方廳へ發する公文にも時々之を用ひて習慣性を養つて居る、牧野氏は語る

今日地方 の官廳等へ送附する公文を見ると如何にも煩雜極まるものがある恰度禮服に下駄履と言つた具合で而も臭いこと此上もない次に地方廳に往復する公文書のみならず上官に差出す缺勤屆の如きも丁寧と云ふよりは寧ろ解り悪いものが多い例せば『病氣に付き缺勤仕る可く御許し下され度此段御願申上候也』と云ふやうなのがあるが之は

一見上官 に對して敬語を用ひた樣であるが何處となくギコチない之れより最と簡單に『病氣缺勤仕る可く御許し下され度候也』で結構である然し此處に注意しなければならないのは斯く煩雜を避け簡單で要領を得るが爲言文一致にしなければならぬと言つて言文一致と會話とを混同しては不可ない

言文一致 と會話とを混同して却つて煩雜を增すことなる文部省にても此の簡單で要領を得た言文一致の標語を作る爲先般來各課分擔して作成して居るから此の暇明け迄には大體の標語表を世間へ發表することが出來よう若し此の標語表が發表された曉には餘程公文上にも面倒がなくなり所謂繁文縟禮の弊も矯め得ること、信ずる(東京)

私共が言文一致を獎勵した目的は公文の煩雜を避くるが爲めで今迄に總ての文語を口語にしようと云ふのではない

各小學校に體操器械

父兄の寄附で

本社が小學生の體育問題を提唱して以來大分好反響を得つゝあるが京城府內の有識者中には夙に此點に著眼してゐる人も尠くなく今春

父兄の寄附 に依て鍾路小學校の體操器械新設があつてから府內各小學校共に此機運に促され櫻井、日の出、西大門の各小學校にも體操器械が父兄の寄附で出來る事になつて此程櫻井日の出二校は竣成しペンキ塗の整然たる器械が運動場に並んだ西大門小學校も近日中に出來るし龍山元町小學校は新校舍

建築と同時 に各種の體操器械が出來る筈である聞けば一校尠くも千二三百圓を要するさうであるが學校組合の豫算に關係なく父兄の寄附で出來たのは非常に喜ぶべき事である學校に關係の深い某氏は語る『斯く器械が出來たのであるから之を利用する最善の策は學校にある、自分は放課後も

宿直の職員 が運動場に出て來て兒童が此等の器械を使用する事に指導を與へ監督をして父兄の意志を尊重して充分其實蹟を擧げて欲しい』

艦載水雷沈沒

端艇に衝突して

橫濱入港中の佛國軍艦接伴艦として橫濱碇泊中の軍艦生駒の艦載水雷艇は二十二日午前六時卅分乘組員出迎ひの爲め大型カッターを曳きつつ防波堤入口に至る際送迎端艇に衝突し水雷艇は間も無く沈沒せり(東京特電)

三縣下の旱魃

農民憂慮す

山形宮城兩縣下は水田の涸渇甚しく植付不能の地方多く茨城縣にても陸稻の如き殆んど枯死せんとし農民は甚しく憂慮しつゝあり(下關特電)

各地の土用二郎

廿一日溫度は午後二時測定

釜山　八十六度二分、夜來氣溫一層增し風無かりしも朝來西南の風競ふ
晉州　百二十五度
馬山　九十度
木浦　八十五度六分、
群山　九十六度、快晴西の風
公州　九十四度
淸州　九十二度、微風
大邱　九十四度五分
大田　八十八度
鳥致院　九十八度晴れ無風
平壤　九十度九分
鎭南浦　九十度二分
春川　九十二度三分
元山　九十六度八分、之迄に比し最も暑し午後三時迄には尙二、三度上る可し
安東縣　九十度
下關　東の風晴れ

薔薇園の活動

朝鮮ホテル

朝鮮ホテル薔薇園に於いて開催中の活動寫眞は二十一日の封切以來每夜滿員の盛況で試寫の映寫期は晴天に限り向ふ十日であるから順調に行けば今月一ぱいと云ふ事になつて居る影場で觀客は凉を納れながら涼しく金剛山の絕景が見らる、譯で薔薇場は本館の背面薔薇園前の庭にある入場料は三十錢であるが料金に相當した茶菓を出す事になつて居る

柔道土用稽古

講道館

講道館朝鮮支部に於ては例年の如く來る廿五日より向ふ三週間每夕七時半より柔道の土用稽古を擧行する由尙ほ歸省中の學生等にして土用稽古出席希望の向は出席あるべしと

成川の豺狩

平南成川

平南成川郡于波地方には最近豺の被害頻々たるより成川憲兵分隊にては小山分隊長以下憲兵十名及び內地人獵師三名他に軍隊より下士卒十名の應援を求め于波附近邑民四百名を勢子として去る十四日午前五時頃より于波を距る約一里所在の無名山を狩り立てたるが同日は約五頭の豺を發見したるも僅か一頭を射殺したるのみにて稍々失敗に終れり

足拔き藝者

江原道春川

德島市生お初事鈴本うの(十七)は江原道春川郡邑內料理店淡路屋抱へ藝妓なりしが春川慈惠醫院に入院中此程ドロンと消え失んとする途中を同地憲兵分隊に取押へられたるが之は最初藝妓の契約にて抱へられたるにも拘らず娼妓として稼がせたる爲め其不法を詰責する爲め鄕里より橫內某來り交涉中埒明かざる爲め兩人共謀の上逃亡を企てたるものにて目下取調べ中(春川)

○全國學生洋畫展覽會　關西日日新聞京都新聞兩社主催、京都市長安藤謙介氏を會長とせる『全國學生洋畫展覽會』は本年十一月下旬頃文部省美術展覽會京都陳列會と同時に京都市岡崎公園に於て開會すべく審查員は鹿子木孟郎、太田喜二郎、田中重太郎の三畫伯にして十一月二十日を以て出品受附期限とし審查の結果作品には金員若くば金銀賞牌を附與すべく尙ほ詳細規則等入用の向は京都市烏丸通丸太町下る右兩新聞社內事務所へ郵券添附申込むべしと

運動界

平壤の庭球戰

平壤軍對兼二浦庭球試合は廿日平壤に於て擧行兼二浦軍吉野飯島組孤軍奮鬪したるが平壤軍は不戰組一優退組二を殘して一捷せり兩軍のスコーア左の如し

兼二浦軍　平壤軍
馬屋原 間 一……三 樋熊 杉山○
山崎 初田 一……三 樋熊 杉山◎
田村 松崎 一……三 上野 山中○
◎渡邊 今本 三……一 下野 山中
埼島 向井○……二 高倉 福島
吉武 中司○……三 高西 廣瀨◎
大築 片山 一……三 柏村 村上○
竹原 津島○……三 柏村 村上◎
○吉野 飯島 三……一 竹村 小堀
◎吉野 飯島 三……○ 澁谷 小宮
柱田 梅津○……三 金田 小森○
渡邊 今本○……三 金田 小森◎
○吉野 飯島 三……一 藤川 梅澤
○吉野 飯島 三……一 樋熊 杉山
吉野 飯島 一……三 高西 廣瀨○

本社軍の大捷

青年會との野球戰

京城基督敎青年會對本社の野球試合は廿二日午後六時より京中運動場で擧行された鈴木氏審判青年會先攻で試合に入り五回試合にて十對六のスコーアで本社軍大捷せり兩軍の陣容左の通り

本社軍		青年會	
1	田嶋	4	渡部
2	崔	7	松隈
6	野崎	5	岡
3	寺田	2	佐瀨
4	福原	6	前川
7	高橋	8	越智
9	中井	9	勝木
8	大嶋	3	高木
6	本谷	1	柳澤

東拓 五〇〇 九七、五〇〇 同新 一四三、五〇〇 二、七〇〇高
同新 三、五〇 六一、〇〇〇 商船 一九三、九〇〇 三、九〇〇高
殖銀 二〇、〇〇 六六、〇〇〇 同新 一四〇、〇〇〇 一、二〇〇高 寄付

東京期米特電

二十二日後場

高値 三七、九八
安値 三七、六〇
止め 三七、六九
止め 三七、一三

大根種へ荷
京畿道水原驛前
富國园
定價表進呈

灌漑用
水車

品目	在庫數
直徑五尺	七十臺
直徑五尺八寸	百四十臺
直徑六尺	百九十臺

京城明治町一丁目
田沼商會
電話長二九〇四
振替京城二九六
電信略號タヌマ

之丈は是非必要なる常備救急藥
安川コロダイン
効能 いつう○ふくつう○しよくあたり はきくだし○きつけ○どくけし
定價 三十錢 五十錢
東京日本橋上槇町 製劑師 安川榮次
全國各地藥店に有

みだれ咲き

第九十六回　島山碧波作　森田久畫

何心無く電話口に立つた龍雄は送話者より意外なる質問を受けるさ、ハッさ思つて危く受話器を取落さうこした。

『ねら貴方は山中樣の若樣でございませう』

相手は左樣さ信じて居るこ見えて後の言葉を續けやうさして居る。彼れは此の場合否さ答へやうさ思つたが、萬一相手よりの帳場へでも照會されては一大事さ思ひ。

『さう仰しやる貴女は誰何でございます』

彼れはヒヨッさしたら蓮子であらうかさ思つた、否な蓮子であることを始めて名を聽かれた時に知つた。

『私ですわ、お判りでせう』

『河合さんですか』

彼れが眸を躍らせながら眺して見るこ。

『ね、左樣なのよ』

『さうして僕が此處に居るのを御存知になりました』

『先刻お宅の前を通つて知つたのですが、一寸私の處へ來て頂くことは出來ませんか』

『伺ひますが、貴女はごうして僕さ離れたのでせう、さうして貴女はまだ內地に居らつしやつたのですか』

『…………』

蓮子は何故か龍雄の質問に對して一言の答辯もしなかつたが暫く經つさ。

『兎に角お目に掛つていろいろお話し申し度いことがありますが、來て頂くのが御迷惑ならば私の方から伺ひますわ』

『イヤ僕が伺ひますが、貴女は何處に居らつしやいます』

『私は山陽ホテルに泊つて居ります、實は此の風雨で今夜の船が出ませんから泊つて居るのです』

『さうですか、夫れでは直に伺ひます』

『夫れではメリケンルームの第七號室に居ますからお尋ね下さい、お待ち申して居ります』

『承知しました、僕も貴女に申し上げ度いこともありますから直に伺ひます』

龍雄は此の電話を聽くこ共に歡天喜地の思ひをした、蓮子にさへ逢へば事情を打ち明けて朝鮮までの旅費を立替て貰へるから、彼れさしてはモウ斯んな西洋料理屋に用は無いさ思つた。

『折角御厄介になりましたが、僕は友人が來ましたから一時歸らして貰ひます』さ、云つて帳場を預る男に賴むこ。

『さうするさ君はモウ來ない筈なのか』

『實は急に朝鮮へ出立しやうさ思ひますから是れで歸らして頂き度いのです』

口實を作ればごんな事でも云ひ拵へられるが、龍雄は身分こそ打ち明けぬが、其の他のことは心に思ふ通りを告白して關門を出やうさした。

『おい此の餓鬼は喰ひ稼ぎに來た不良少年なんだ、今貰つた靴を入れ唯僅も此方へ取り上げて追ひ出してしまへ』さ、云つた帳場の男は。

『夫れから何か搔ッ浚つて行かれるかも知れ無いから、持つて行く物を熟く見てやれ』

『はい……』

根性の惡いボーイ達は、龍雄を散々居倒した後、足蹴にせんばかりに雨の街頭へ突き出してしまつた、著て居た制服のポケットまで仔細に調べ、一同が寄つて集つて表へ突き出してしまつた。

『あゝ……』血の淚を流すやうな思ひをした龍雄は。

『是れも修養の一つだ』

氣を取り直して山陽ホテルを訪れた彼れは、ボーイに向つて來意を告げるさ。

『お待ち兼ねのやうでしたから直にお通り下さい』

敎へられた通りに階上へ昇りメリケンルームの七號室前に佇み、ドアーの外からノックするこ。

『お待ち申して居りました』

自ら立つて來て入口のドアーを開けた婦人をあふいだ龍雄は。

『ヤッ』さ叫んだまゝで後へ引き返さうこした。

牛乳　御用　朝鮮ホテル　成歡病院　京城東四軒町　岡野牧場　電話一六〇九番

書畫用　絖　畫絹　京染呉服商　たまや出張店　京城明治町　電話一一九六

鳥類の羽毛を利用せよ（二）

黃海道畜產技手　吉田雄次郎

羽毛蒲團の價値

古來我國では被蒲團及び敷蒲團には主に詰物こして其內容に綿を入れ唯僅に高貴の家庭に限らるゝ上等の座蒲團には芒（すゝき）、香蒲（禾本科）の穗、香蒲料の雄花の老熟したるもの、若くは蠶の繭を收むる中に生ずる繭綿、屑綿の屑物等を用ゐられた、又近代は軍隊、學校、寄宿舍、病院等にて寢臺を設くる時には稻藁を使用し椅子、腰掛等の內容には藁、枯草、鉋屑若くは上等になるさ獸毛を用ゐられて居るが之は甚だ少い方である、古來夜具類を總稱して蒲團さ名づけられたのも、古い或る時代には香蒲や芒の穗が盛んに使用せられたからであるさの事である、で

我國で羽毛

蒲團を初めて使用せらるゝ樣になつたのは何時頃であるかは知らぬが餘り古い時代では無いさ思ふ然し西洋では鳥獸の利用法が數世紀から講考されて居るのであるから餘程古いものであらうさ思ふ近來は我國でも外國製の羽毛蒲團が盛んに輸入され旅行中

汽車や汽船

の中で上流社會の人々や奢侈な成金連が盛んに使用しつゝあるのを見受らるゝに至つた、而して其殆んご全部が輸入品で國產のものは甚だ少い樣である、是等は今後國產獎勵獨立上の趣旨から云ふても絕對に輸入品を防遏する方法こして確かに獎勵すべき事業であらうさ思ふのである

名刺　電話二七二一番　京城　太平堂　振替京城一三六七番

日報歌壇

遠天に

□ よし穗（筑紫）

相見にしそのたまゆらにすべなな
み淚わりなし君が頰の上
物云へずこらへかれたるわが淚は
はろかなる闇の底ひゆ人走るけは
ひたさしゝ落つるもろ人の中
遠天にこりて動かぬ雲はも人悲く
らむか月の下びに（以上挽歌）
久に見し我が兄の頰の濃き髭も淋
しまれけり共の濃き髭も
髭多き我兄を見たり坑內のほのか
に搖るゝカンテラの灯に

□ 旅野　素月（京城）

しばらくは步さしわかず現つさも
つかず聞きゐる夏のそよ風
さびしも熱のさめぎこそは思ひつれ
步なれご發めじさこそは
窓に泣く聽談の靑々廣き葉の眺め
まづしかる戀の行方さ眺むれば
の山川の淋しくは見ゆ
久方の雲の徂來や散る花やげに逝
く春の惱たゞしさや

□ 西村幸治郎（仁川）

夏の日や木々の一葉も音立てぬ此
の寂しさにわが思ひ居り
我がシャツの乾きて白く搖ぐなべ
に飛びてはさまる赤蜻蛉哉
夕顏の花のほのかに搖ぐ淋し
く見つゝ君思ひぬ

□ 草場　哲郎（京城）

しづごゝろ木立の蔭につなかれし
驢馬は淋しく嘶きにけり
日の光ほのにこむれば木々の葉は
聰きいのちに皆さやぐかも
夏の光あきらかに澄む
アカシヤの緊みを透し洩れ來る初
日に透きて光を帶べるアカシヤの
一葉ひさ葉に風さやぐ見ゆ
こゝだくも夜露をふくむ芝草にそ
さ來足をはふれて見し朝

□ 國田菖園（永登浦）

白光る熱砂の中に身のあればいの
ちゆゝしもひろの雄浪
たゞ蒼くわが足もさゆはろ／＼さ
たゞなはる海を見てゐたり我は
戀ふのみの此の身を咲きはた惜み
はかなき戀にわか生き行くも
風去りて空まさやかに澄みぬれば
又より來り雲の流るゝ

小葩

高島田白たけながを根に結び君は
少女に別れむさする

我等の俳句

○ 烏堂

水仙花此朝ぬきすてらるゝよ
閑の夏日に向ひ步きそむかれず
瞰屋は瞰白き一日の暑さする

○ 不老郎

夏帽去年の人いきれに嗅ぐなり
我が白チャボの拔毛の草の風よ
伸に尻を落して今日からの夏服
（八、七、二〇、五の日の十日）

新刊紹介

▼特殊部落研究號（民族こ歷史臨時增刊）喜田文學博士の主宰せる雜誌にして本號は特殊部落の研究資料を以て全卷を充たせるもの喜田博士の史學に造詣深きこは世間既に定評あり本號には博士の執筆に成る長篇數種の史料の外名家の寄稿もあり殊に朝鮮關係の史料は朝鮮研究者に取つて最も見逃がすべからざる事項ならん（八十五錢、東京小石川表町一〇九日本學術普及會）

▼探險旅行記（松尾未鼓著）著者が最近西伯利、滿洲、南洋方面を旅行せる視察記にして所謂探檢記なるものさは共選を異にし著實にして誇張味なきは喜ぶべし且つ行文頗る流麗にして波瀾重疊、銷夏の讀物として好適（一圓二十錢、東京市牛込區神樂町一の一東亞堂）

▼勝友（一〇の七）淨土宗の鮮昔年會の機關誌にして眞の覺知（吉田不知火）思ひやり（石橋鴻洲）佛教さ近代思潮（鈴木文助）求むる人に（大町耕人）お伽噺狸のしくぢり（南野徹心）其他（五錢、京城本町三丁目淨土宗開教院內共會）

○中元の贈答品　茶山大倉町のキロロガス商會にては中元の贈答品にも適當なる同店の特色品、金口煙草、葉卷煙草、ブドー酒、ウイスキー等特別大勉強を以て一般の小賣に應じ居れるが同店は直輸入の特點を有する丈けに品質に於ては確實なり（然山）

投書の領分

▲明治町野口樣へ御知らせ致します御癇の君のウルシ負は豆腐を一丁買ひ其の豆腐で負物の上を一寸撫でてそれを一人して食ふさなほるその事です迷信の樣ですが私が實見しましたが全快したので一寸御知らせ致します迷信の樣ですがやつて御覽なさい（南大門外の小伶生）▲講和來！實に吾々は喜ばしい併し一度此報に接するや物價は奔馬的昂騰を叫ぶ何さ云ふ悲しい事であらうか某々會社現象を何と見るでしょうか（或は好餌？）は此るであらう從つて此れに關係ある立派な地位にある者も亦自ら儆めて有う併し戰前に比し拔群し切つた國民は斯かる講和後の現象を直ちに當局でもあらうか食品、衣類は戰前に比し約三十割の暴騰を示して居る官吏な婦しがらせても五割に過ぎぬ爲政者は國民の同情者であつて欲しい輸出禁止をしても一、米、砂糖、味噌、醬油、一、綿衣類の價格調節否な低減に努力せられん事を望む是れ爲政者を信賴する國民が講和を祝福すると共に痛切に訴ふる大なる望さして聽いて欲しい（京城木槿生）▲今日の人は昔日の人より遙かに怜悧なり何事も能く承知せり然り理や理屈は昔の物識以上に新へ居れりされば之を精神的に薫化するは容易の業に非ず社會の先達者は宜しく先づ自ら德を修め然る後德を以て人を薫化せよ、然らば則ち人は期せずして睦くなり（野の哲人）▲七十九聯隊の假馬場に每日乘馬の練習せらるゝ度每に砂塵が馬蹄に掘り住宅の何れにも室內に飛散し一日五六回掃除を要するには迷惑せり何さか衛生を重んずる軍隊であるから住民にも衛生思想を有する故板塀を以て圍さか又は樹木を植付くるさかの設備を望む（龍山三角地の住民より）▲本魚さん妙な處で感心なさつたのれホヽヽ爪先で立つのが學ぶ事ですつて？じやあなたは日本否世界中のダンサーに感心しなければならないじやありませんか一週間も練習すれば誰れでも出來ますわ私もあの位な貧弱なダンス？は出來るさ思ひますよ「井の中の蛙」はおよし遊ばせ（小ダンサー）

鑛產業界形勢

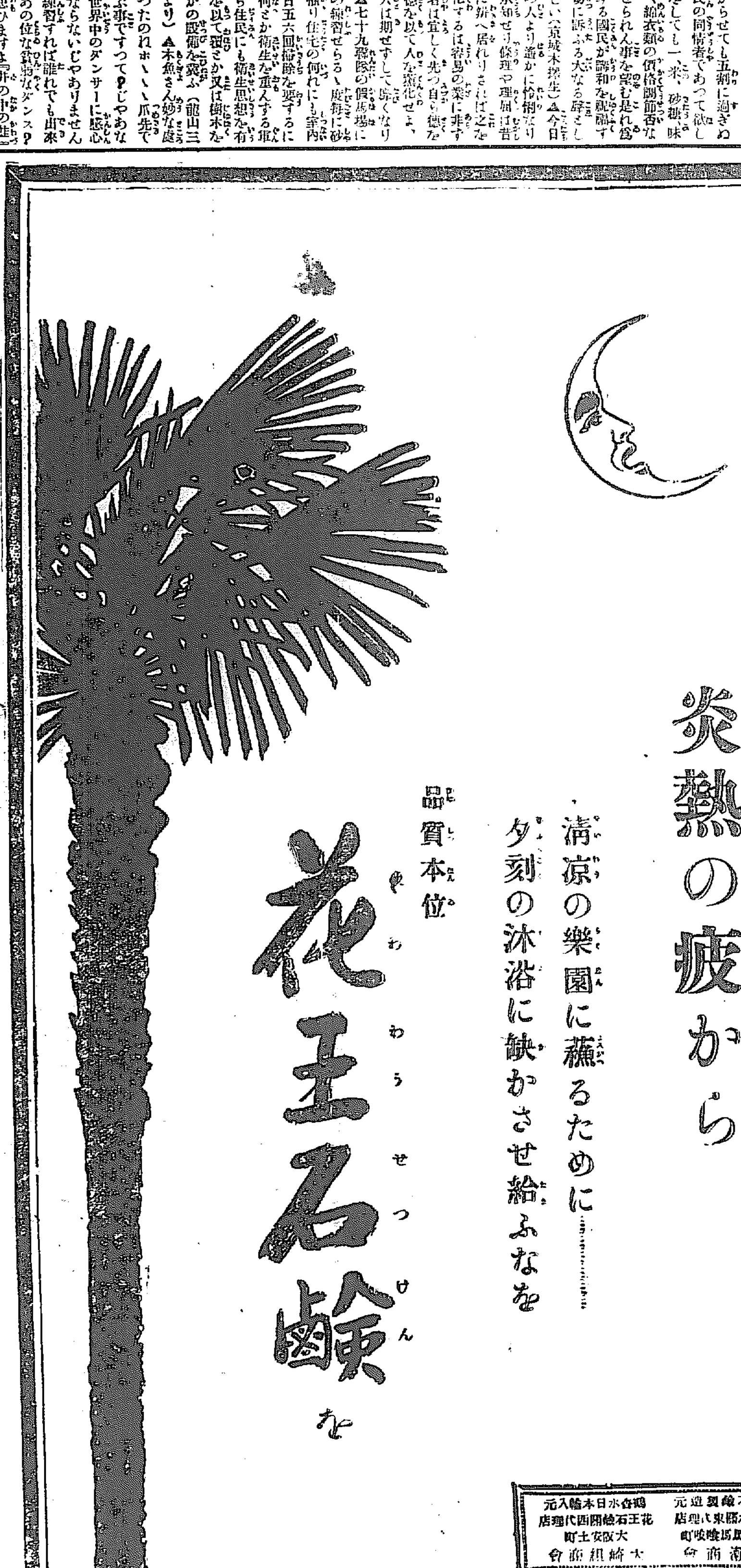
…上げする旨發表した此の結果はつた是は勞働時間を正味六時間…從業者のユニオンは四十萬の…なし是も角同盟罷業は三月二十…て一方政府に於ては最も需要高…貸を增し到底限定の鑛高價格で…其は敵甚なる影響を受け中には…り歸還せる者三十五萬人の…

失業問題

もあり且つ臨…十二月選擧せられたるものであ…

連絡船上陪客

廿…十九、同久端同しげを、小西俊三、石井文子、大塚寅吉、井手虎夫、鈴木光五郎、上田鐵造、田子高子、岡のり…櫻井健三…



炎熱の疲から

清涼の樂園に蘇るために
夕刻の沐浴に缺かさせ給ふなを

品質本位
花王石鹸

花王石鹸製造元　東京馬喰町　長瀨商會
鶴香水日本輸入元　花王石鹸關西代理店　大阪安土町　大崎組商會

何れの家庭にも
仁丹は一日も
欠されない炎暑となつた

金言
過去に慮り現在に働き
未來に樂しむ　西諺

わきが　…の彼にて今他方は特効藥ファーザーを御用ひ下されたし一圓京城黃金町山田文殊堂藥房電話二九四九番

日本郵船仁川出帆
大連、天津、牛莊行　濟州丸　七月…日正午出帆
宮崎丸　七月…日正午出帆
相模丸　七月…日正午出帆
都合ニヨリ早發スル…アルベシ
仁川海岸町一丁目電話十番　堀　…店

互光商會汽船出帆廣告
◎元山、西湖、城津、清津行
第三…丸　七月…日釜山發
◎門司、宇品、神戶、大阪行
第三…丸　七月…日元山發
釜山大池回漕部（電話二三）
元山田口回漕店

大阪商船出帆（仁川出帆）
大阪行　…海…和丸　七月…日正午出
大連、天津行　…州丸　七月…日正午出
郡山、大阪行　…安東丸　七月…日正午出
（元山出帆）
清津行　須磨丸　七月…日後十二時
釜山、門司、宇品、神戶、大阪行　宮島丸　七月…日後九時
（大連出帆）
上海、基隆、打狗行　湖北丸　七月廿九日後六時
內地各港出帆主要航路
歐洲行一年四回北米行每月…回
南米行一年四回…行每月一回
濠洲行每月一回南洋行每月一回
御注意　外國航路船の乘客は…
大阪商船株式會社仁川支店　電話二番二〇五〇番
京城內國通運會社京城支店電話…
京城通り仁川本町　京城阪田組電話…